

総合戦略 KPI 達成状況等アンケート
調査結果

令和7年3月

睦沢町

目 次

アンケート調査結果の概要	1
第2期総合戦略のK P I達成状況	3
I. アンケート調査概要	4
1. 調査の目的	4
2. 調査概要	4
II. アンケート調査結果	5
1. 回答者の属性	5
(1) 回答者属性の一覧	5
(2) 回答者の属性	6
2. 睦沢町での暮らしについて	9
(1) 睦沢町への愛着	9
(2) 暮らしの各項目への満足度・重要度	11
(3) 活動する際の主な行き先・交通手段	13
(4) 睦沢町での居住歴	16
(5) 今後の継続居住意向	18
(6) 住み続けたい理由・転出したい理由	20
3. 町の将来像について	29
(1) 将来の睦沢町にふさわしいキーワード	29
4. 健康まちづくりについて	33
(1) 現在の健康状態	33
(2) 健康への意識	35
(3) 健康づくりの障壁となるもの	37
(4) 道の駅の利用経験	41
(5) 道の駅を利用しない理由	43
5. 人生における学びの環境について	46
(1) 人生を通じて学び続ける意欲	46
(2) 生涯を通じて学べる環境を充実させるための取組	48
(3) 子どもたちの学ぶ環境を充実させるための取組	53
6. デジタル化への取組について	56
(1) インターネットの利用頻度	56
(2) 利用している情報通信機器	58
(3) デジタル化に向けた町の取組	60
7. 防災に向けた取組について	68
(1) 防災・減災に向けた町の取組	68

アンケート調査結果の概要

睦沢町での暮らしについて	睦沢町への愛着	◆約9割(87.1%)が愛着『あり』と回答。
	暮らしの各項目への満足度・重要度	<ul style="list-style-type: none"> ◆「満足」と「やや満足」を合わせた比率は20項目中16項目で5割を超えている。 ◆相対的に満足度が高い項目は「緑や水辺などの自然環境」「住宅の条件」「近所とのつきあい」など。 ◆「重要」と「やや重要」を合わせた比率は6つの項目で9割を超えている。 ◆相対的に重要度が高い項目は、「病院などの医療機関」「火災や災害からの安全性」「防犯の体制、交通安全施設の整備状況」など。 ◆今後対応をしていく必要のある『満足度が低く、重要度が高い項目』は、「病院などの医療機関」「公共交通の利便性」「通勤、通学の利便性」「防犯の体制、交通安全施設の整備状況」「高齢者、障がい者などへの福祉」「買い物など日常生活の利便性」「出産、子育ての環境」「道路の整備状況」。 ◆「健康づくりのためのスポーツ・運動環境」「火災や災害からの安全性」「地域の行事・イベント」などは前回と比べ満足度が上昇。 ◆「子どもの教育環境」「通勤、通学の利便性」「出産、子育ての環境」などは前回と比べ満足度が低下。
	活動する際の主な行き先・交通手段	<ul style="list-style-type: none"> ◆主な行き先のうち、「睦沢町内」の割合が最も多い活動内容は「教養、文化活動など」「子ども(未就学児)と遊ぶ」。一方で、「衣料品、家具、家電、趣味などの買い物」や「自分が趣味や遊びなどで出かける」では「睦沢町内」の割合は1割を下回る。 ◆主な交通手段は、「自家用車」が「食料品、日用品などの買い物」「病院、医院など医者にかかる時」「衣料品、家具、家電、趣味などの買い物」で約9割を占める。「教養、文化活動など」「自分が趣味や遊びなどで出かける」では「自家用車と電車」の割合が1割を超えている。
	睦沢町での居住歴	◆「千葉県内の他市町村から転入(37.7%)」が最も多い。
	今後の継続居住意向	<ul style="list-style-type: none"> ◆約8割(84.8%)が『今後も住み続けたい』と回答。 ◆『今後も住み続けたい』は今回が前回(81.3%)を上回った。
	住み続けたい理由・転出したい理由	<ul style="list-style-type: none"> ◆住み続けたい理由は「まちや地域に愛着がある」が最も多く、「自然環境がよい」「近所付き合いや人間関係がよい」が次ぐ。 ◆住み続けたい理由を前回と比較すると、「まちや地域に愛着がある」「近所付き合いや人間関係がよい」などは今回が前回を上回ったが、「自然環境がよい」などは今回が前回を下回った。 ◆転出したい理由は「交通の便がよくない」が突出して多く、「買い物の利便性がよくない」「近所付き合いや人間関係がわずらわしい」が次ぐ。 ◆転出したい理由を前回と比較すると、「交通の便がよくない」や「買い物の利便性がよくない」や「近所付き合いや人間関係がわずらわしい」等、多くの項目で今回が前回を上回った。
将来の睦沢町の将来像	◆「住みやすい・快適」が最も多く、「緑・自然」「安心・安全」「健やか・元気」「あたたかい・幸せ」が次ぐ。	

アンケート調査結果の概要

健康まちづくり について	現在の健康状態	<ul style="list-style-type: none"> ◆約 8 割が『良い』と回答。 ◆『良い』は今回が前回は上回った。
	健康への意識	<ul style="list-style-type: none"> ◆8 割以上が『(健康に) 気を配る』と回答。 ◆『気を配る』は今回が前回は上回った。
	健康づくりの障壁となるもの	<ul style="list-style-type: none"> ◆「時間が取れない」が最も多く、「費用がかかる」「もう十分に取り組んでいる」が次ぐ。 ◆「健康づくりの障壁となるもの」の上位項目の回答割合は前回と大きくは変わっていない。
	道の駅の利用経験	<ul style="list-style-type: none"> ◆「利用したことがある」が 86.5%と大勢を占める。
	道の駅を利用しない理由	<ul style="list-style-type: none"> ◆「施設に魅力を感じない」が最も多く、「こういった施設・設備があるかわからない」「行く時間がない」が次ぐ。
学びの環境における 人生における 環境について	生涯を通じて学び続けたいか	<ul style="list-style-type: none"> ◆「はい」が 57.9%となり、「いいえ」が 12.0%。 ◆「はい」は今回が前回は下回った。
	生涯を通じて学べる環境を充実させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆「生涯学習講座等の開催や受講方法に関する情報提供」が最も多く、「施設利用にかかる手続きの簡略化」「生涯学習を支援する地域人材やボランティアの育成」が次ぐ。
	子どもたちの学ぶ環境を充実させるための取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆「様々な人と交流しながら学ぶ機会の充実」が最も多く、「地域の自然等と触れ合いながら学ぶ機会の充実」「学校で学んだ内容をより深く理解するための復習の機会の充実」が次ぐ。 ◆前回も今回と同様に「様々な人と交流しながら学ぶ機会の充実(62.0%)」が最も多かった。
デジタル化への 取組について	インターネットの利用頻度	<ul style="list-style-type: none"> ◆『月に数回以上は利用』の割合は 74.2%。
	利用している情報通信機器	<ul style="list-style-type: none"> ◆「スマートフォン」が 92.7%と大勢を占め「パソコン」「テレビ」が次ぐ。
	デジタル化の推進に向けた町の取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆町に不足していると思うものでは、「行政手続きのオンライン化の拡充」が最も多く、「防災・災害対応や情報提供のデジタル化」「公衆無線 LAN 等のネットワーク環境の整備」「SNS 等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が次ぐ。 ◆今後、町に取り組んでほしいものでは、「防災・災害対応や情報提供のデジタル化」が最も多く、「行政手続きのオンライン化の拡充」「公衆無線 LAN 等のネットワーク環境の整備」「SNS 等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が次ぐ。
取組 防災 に向けた 取組	防災・減災に向けた町の取組	<ul style="list-style-type: none"> ◆町に不足していると思うものでは、「災害時のライフラインを未然に強化」が最も多く、「災害時の情報伝達手段の充実」「自主防災組織の育成・強化」「避難場所や防災倉庫等の災害対策拠点設備の強化」が次ぐ。 ◆今後、町に取り組んでほしいものでは、「災害時の情報伝達手段の充実」が最も多く、「災害時のライフラインを未然に強化」「食料や水などの備蓄品の充実」「避難場所や防災倉庫等の災害対策拠点設備の強化」。 ◆「自主防災組織の育成・強化」は「不足」が「取り組んでほしい」を大きく上回っている。 ◆「食料や水などの備蓄品の充実」は「取り組んでほしい」が「不足」を大きく上回っている。

第2期総合戦略のKPI 達成状況

	政策分野	指標(KPI)	目標値	実績(※) 〈今回結果〉	目標 達成率 〈実績/目標〉
①	健康	健康だと感じている町民の割合	81.0%	78.3%	96.7%
②	子育て・教育	出産・子育て環境の満足度	57.0%	43.1%	75.6%
③	子育て・教育	子どもの教育環境の満足度	58.0%	49.2%	84.8%
④	くらし	買物などの日常生活の利便性に満足している町民の割合	70.0%	51.9%	74.1%
⑤	くらし	火災や災害からの安全性に満足している町民の割合	70.0%	59.6%	85.1%
⑥	くらし	公共交通の利便性に満足している町民の割合	30.0%	12.9%	43.0%

(※) 表中の実績値は「無回答含み」で算出した数値を表示しており、有効回答(無回答除き)で集計した本文中の数値とは異なる

I. アンケート調査概要

1. 調査の目的

睦沢町の全町民を対象に、第2期総合戦略の各施策の評価や町の強み・課題等について調査し、新たな総合戦略における将来像や施策の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的として実施。

2. 調査概要

【今回調査】

調査期間		2024年10月1日～11月13日
調査対象	実施対象	睦沢町内に在住する15歳以上の全町民 (住民基本台帳に基づく《基準日2024年9月20日》)
	調査方法	郵送による配布・回収
	回収結果	配布数:5,906票 回収票:2,010票 回収率:34.0%
その他		文中の「SA」、「MA」、「NA」、「n」は以下の略称である。 ・「SA」(Single Answer):単一回答形式(選択肢のなかから1つを選択)。 ・「MA」(Multiple Answer):複数回答形式(選択肢のなかから複数を選択)。 ・「NA」:(Numerical Answer):数量回答形式(数値を回答) ・「n」:設問に対する有効回答件数。 ・小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。 各設問とも「無回答」を除いた回答を有効回答として集計 「その他の回答内容」に記載した内容は、選択肢で「その他」を選択していない場合であっても、参考のため記載している。また、「その他」以外の選択肢と同様の意味にとれる内容であっても参考のため記載している。

II. アンケート調査結果

1. 回答者の属性（回答者自身について）

(1) 回答者属性の一覧

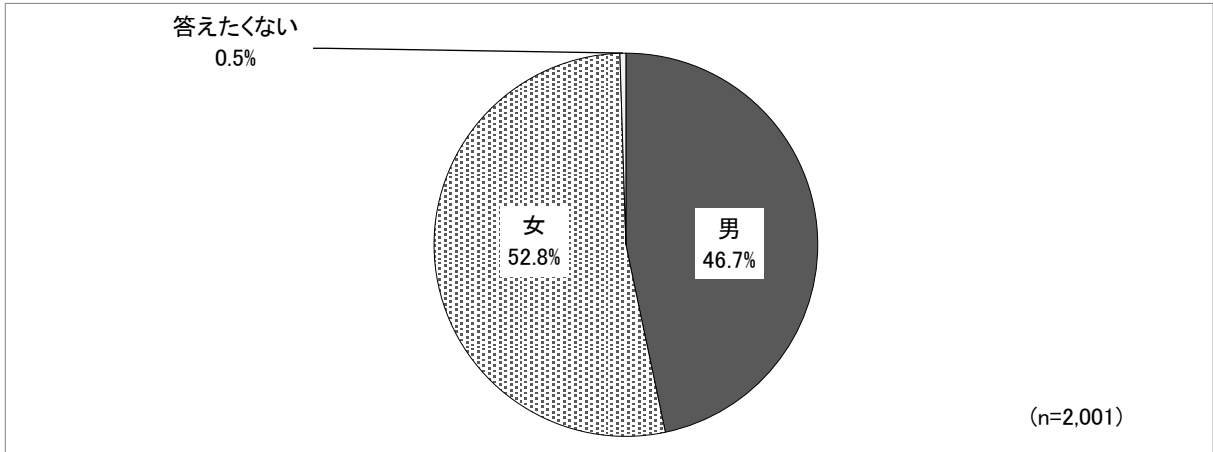
※下表の「構成比」は無回答を含んだ構成比のため、次ページ以降の「無回答を除いた有効回答」の集計とは数値が異なる

属性		回答数	構成比	
性別	男性	934	46.5%	
	女性	1,056	52.5%	
	答えたくない	11	0.5%	
	無回答	9	0.4%	
年齢	10代	39	1.9%	
	20代	78	3.9%	
	30代	142	7.1%	
	40代	239	11.9%	
	50代	245	12.2%	
	60代	391	19.5%	
	70代以上	864	43.0%	
	無回答	12	0.6%	
睦沢町での 居住年数	1年未満	15	0.7%	
	1年～5年未満	96	4.8%	
	5年～10年未満	87	4.3%	
	10年～15年未満	90	4.5%	
	15年以上	1,707	84.9%	
	無回答	15	0.7%	
職業	農業	94	4.7%	
	自営業(農業以外)	111	5.5%	
	会社員、公務員	476	23.7%	
	派遣・契約社員	46	2.3%	
	パート・アルバイト	255	12.7%	
	学生	55	2.7%	
	専業主婦(主夫)	253	12.6%	
	無職(定年退職含む)	652	32.4%	
	その他	40	2.0%	
	無回答	28	1.4%	
家族 構成	同居している 家族	単身世帯	206	10.2%
		夫婦のみ	573	28.5%
		二世帯同居(親・子)	899	44.7%
		三世帯同居(親・子・孫)	245	12.2%
		その他	49	2.4%
		無回答	38	1.9%
	同居している 子ども	就学前の子どもがいる	151	7.5%
		小学生・中学生の子どもがいる	236	11.7%
		高校生の子どものいる	127	6.3%
		高校生以下の子どもはいない	734	36.5%
		無回答	865	43.0%
	住宅の 所有形態	持ち家(一戸建)	1,885	93.8%
		持ち家(共同住宅)	32	1.6%
		民間の借家(一戸建)	20	1.0%
民間の借家(共同住宅)		2	0.1%	
町の賃貸住宅		31	1.5%	
社宅・社員寮・下宿		5	0.2%	
その他		14	0.7%	
無回答		21	1.0%	

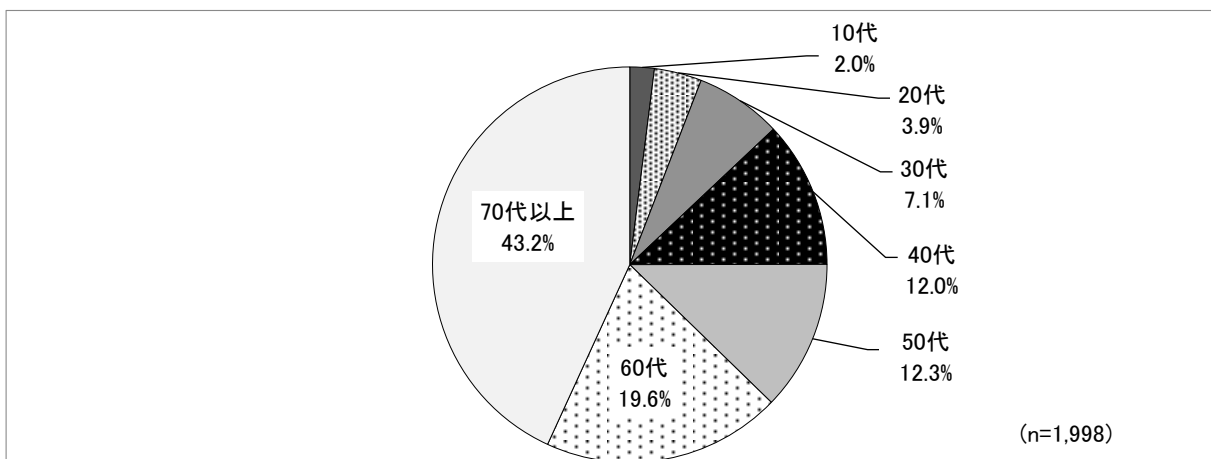
※以下、各設問とも「無回答」を除いた回答を有効回答として集計

(2) 回答者の属性

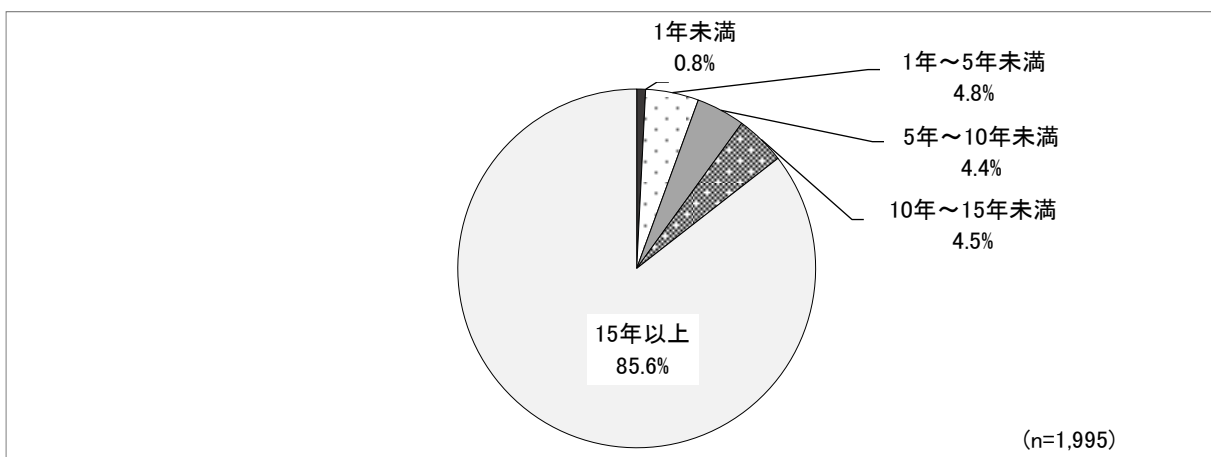
① 性別



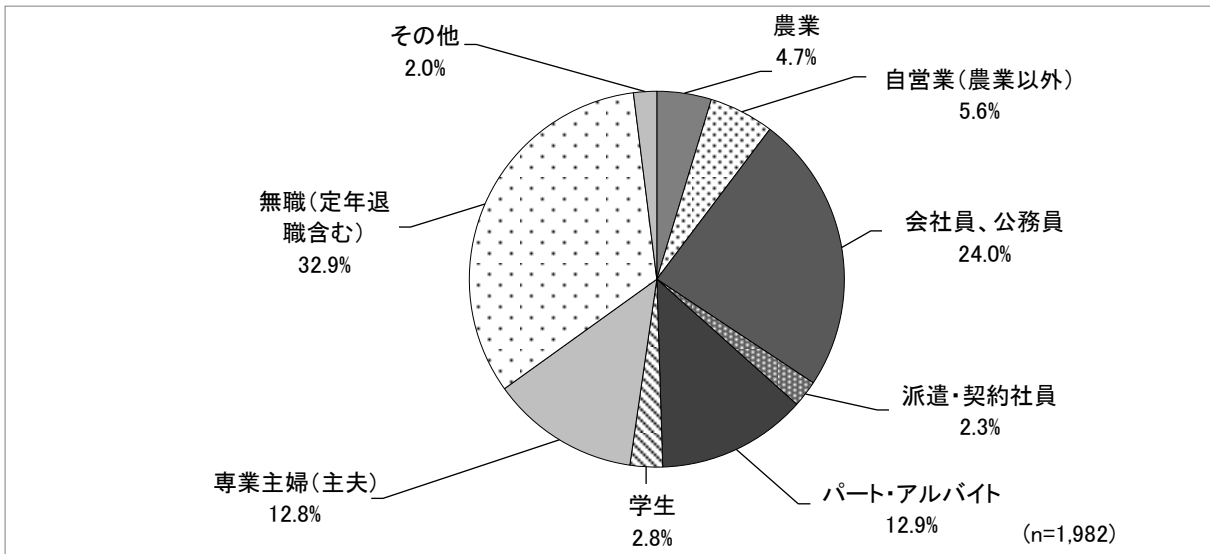
② 年齢



③ 睦沢町での居住年数



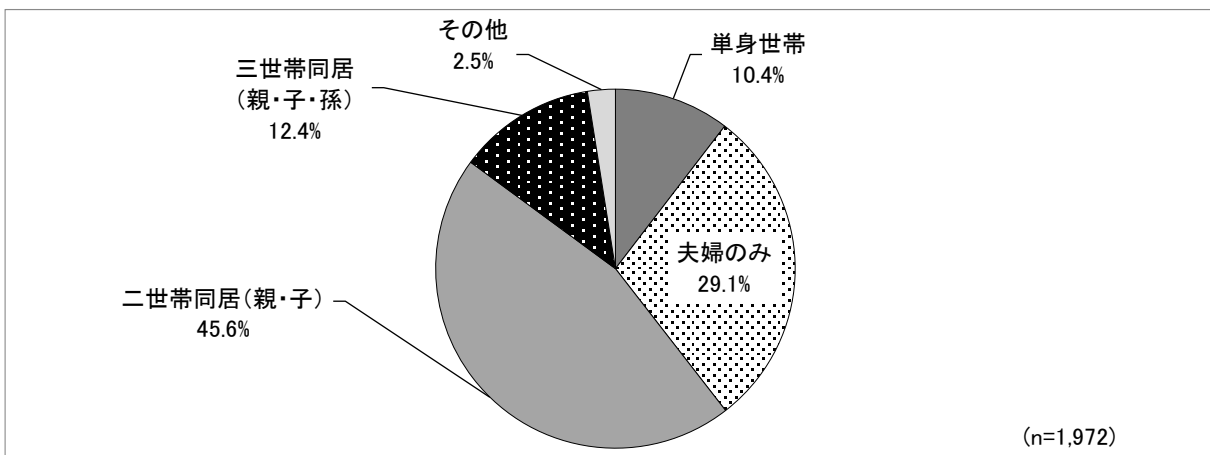
④ 職業



「その他」の回答内容
「無職(4件)」、「弁護」、「住職」、「福祉施設」、「年金生活」、「何もしない」、「会社役員」、「知的障害者」
「作業所」、「就活中」、「財団職員」、「介護福祉士」、「家事」、「会社経営」、「個人事業主」、「団体職員」、
「専門職」、「要介護者」

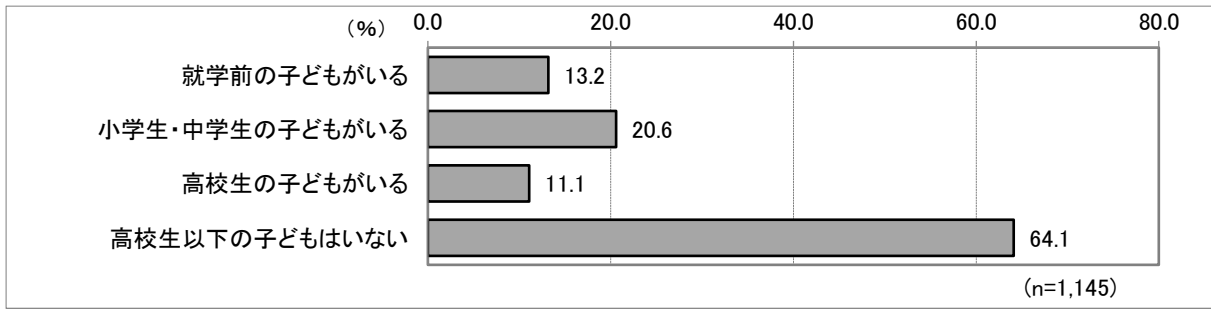
⑤ 家族構成

【同居している家族】

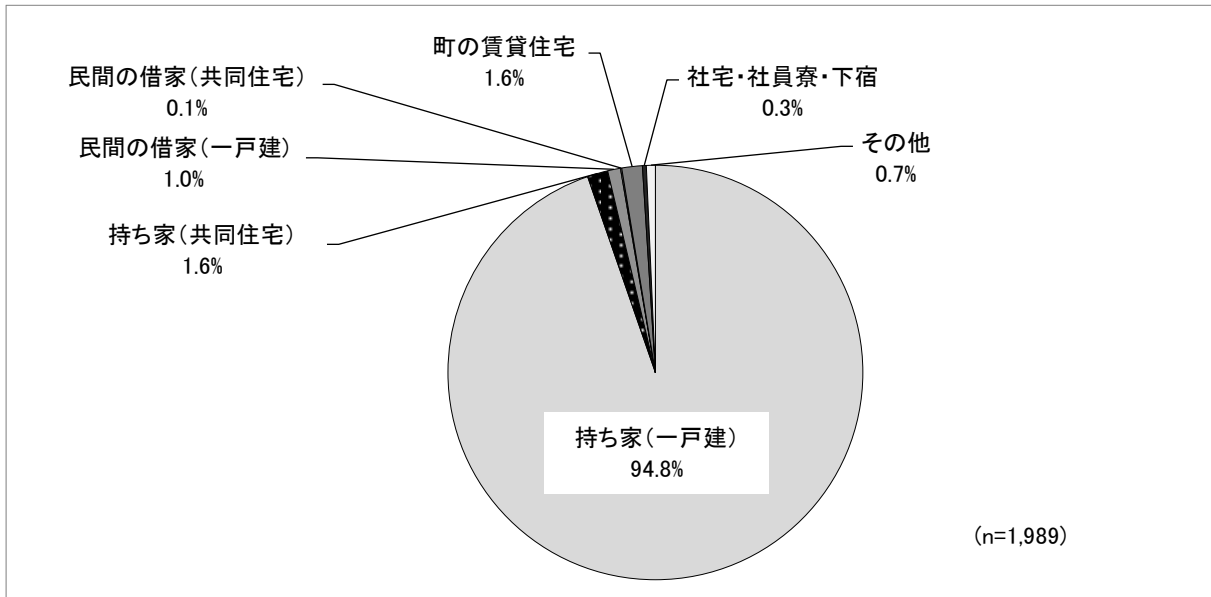


「その他」の回答内容(各選択肢に該当しない事項、複数の意味にとれる事項を掲載)
「姉・弟(3件)」、「姉妹(3件)」、「四世代同居(2件)」、「兄・妹」、「宅地内に2戸(7人)」、「母親・福祉病院」
「祖母・孫」、「宅地内別居」、「別棟に母在宅」、「老人施設」、「友人」、「いとこ・母」、「おば・いとこ」
「姪っ子、子」、「夫婦その他」、「親が施設に入居している」、「一世代・夫婦・子」、「姉・弟夫婦」、「兄弟」
「姉夫婦と同居」、「子・孫」

【同居している子ども】



⑥ 住宅の所有形態



「その他」の回答内容
一戸建てと別棟
親戚の持ち家
施設
宅地は借地
私の住んでいるところは飛地の睦沢町です
友人
土地は違う
子の持ち家(一戸建)
子の持家(一戸建)

2. 睦沢町での暮らしについて

(1) 睦沢町への愛着

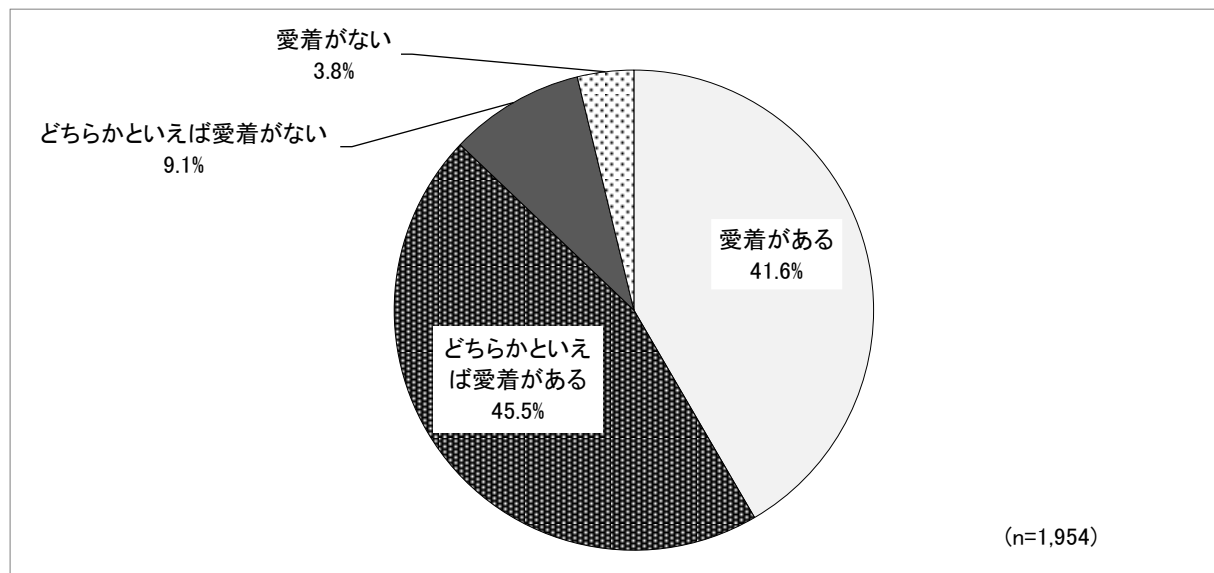
【問7】あなたは睦沢町に愛着をもっていますか。(単数回答)

睦沢町への愛着についてたずねたところ、「愛着がある」が41.6%で、「どちらかといえば愛着がある」の45.5%を加えると、約9割(87.1%)が愛着『あり』と回答している。

属性別にみると(次ページ参照)、年代別では、愛着『あり』の割合は、70代以上で93.0%と高い割合となったが、一方で20代(76.3%)と50代(79.8%)では8割を下回った。

居住年数別では、愛着『あり』の割合は、「1年未満(69.2%)」「1年～5年未満(81.0%)」「5年～10年未満(71.4%)」「10年～15年未満(79.3%)」と、15年未満ではいずれも全体平均(87.1%)を下回った。

【睦沢町への愛着(単純集計)】



【睦沢町への愛着（属性別）】

（単位：％）

		回答数	愛着『あり』			愛着『なし』		
			愛着がある	どちらかといえば愛着がある	愛着がない	どちらかといえば愛着がない	愛着がない	
全体		1,954	87.1	41.6	45.5	12.9	9.1	3.8
性別	男性	917	87.7	45.4	42.3	12.3	8.7	3.6
	女性	1,022	87.1	38.5	48.6	12.9	9.2	3.7
	答えたくない	10	40.0	20.0	20.0	60.0	30.0	30.0
年代	10代	37	86.5	27.0	59.5	13.5	5.4	8.1
	20代	76	76.3	32.9	43.4	23.7	18.4	5.3
	30代	141	85.8	34.0	51.8	14.2	8.5	5.7
	40代	234	81.2	31.6	49.6	18.8	13.2	5.6
	50代	238	79.8	33.2	46.6	20.2	14.3	5.9
	60代	383	85.6	38.1	47.5	14.4	10.7	3.7
	70代以上	839	93.0	51.3	41.7	7.0	5.0	2.0
居住年数	1年未満	13	69.2	15.4	53.8	30.8	15.4	15.4
	1年～5年未満	95	81.0	28.4	52.6	19.0	11.6	7.4
	5年～10年未満	84	71.4	19.0	52.4	28.6	13.1	15.5
	10年～15年未満	87	79.3	25.3	54.0	20.7	16.1	4.6
	15年以上	1,667	88.8	44.5	44.3	11.2	8.3	2.9
子ども有無	就学前の子どもがいる	151	87.4	36.4	51.0	12.6	9.3	3.3
	小学生・中学生の子どもがいる	234	85.5	35.5	50.0	14.5	7.7	6.8
	高校生の子どもがいる	123	87.8	41.5	46.3	12.2	5.7	6.5
	高校生以下の子どもはいない	721	85.8	42.0	43.8	14.1	10.4	3.7

(2) 暮らしの各項目への満足度・重要度

【問8】町での暮らしについてお伺いします。次の各項目について、現在どの程度、満足していますか。また、住みよいまちづくりを進める上で、今後どのくらい重要だと思いますか。満足度、重要度それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んでください。
(単数回答)

① 各項目の満足度・重要度の比率について

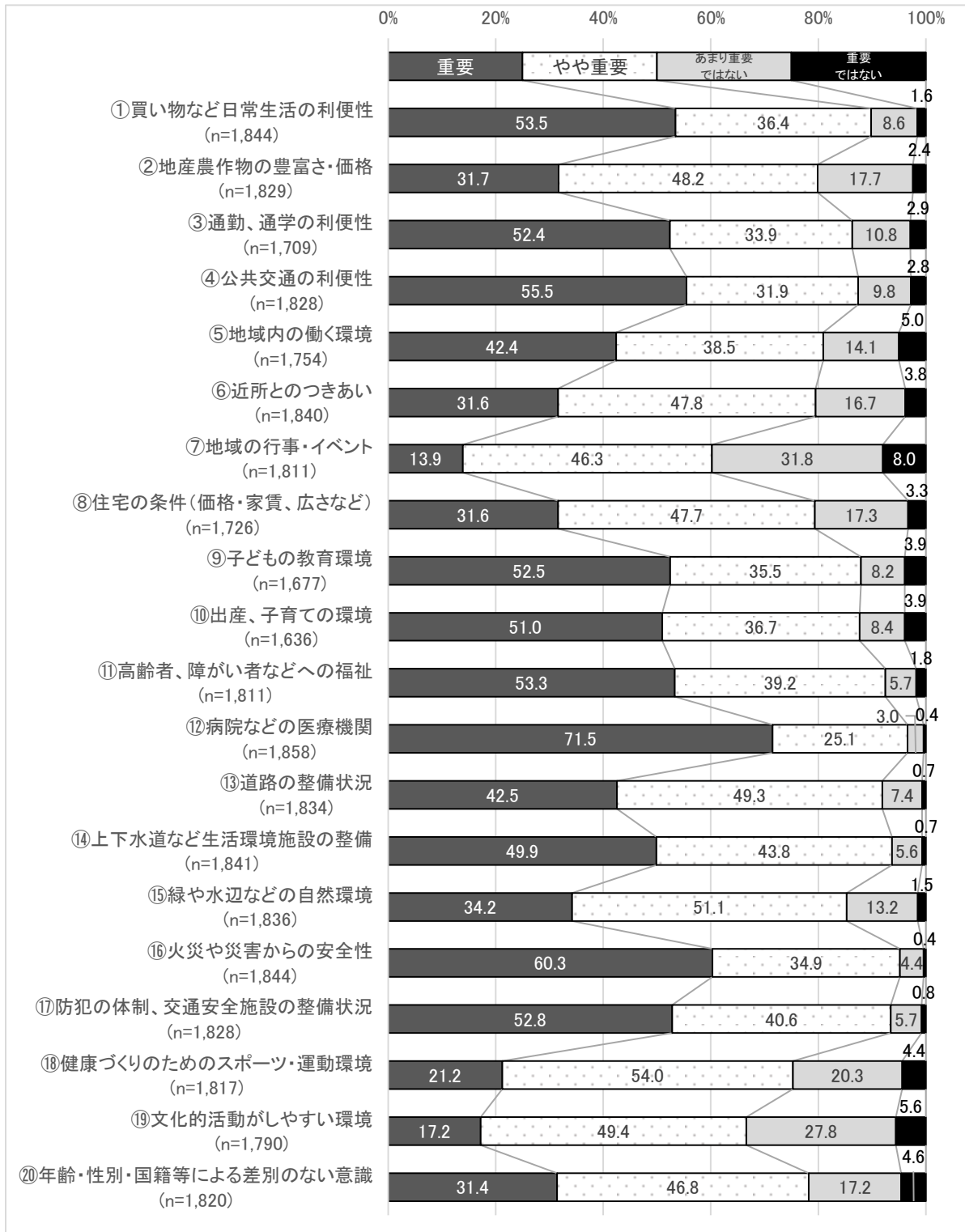
「満足」と「やや満足」を合わせた比率は、「⑮緑や水辺などの自然環境 (82.1%)」「⑧住宅の条件 (78.4%)」など16の項目で5割を超えているが、「④公共交通の利便性 (13.9%)」「⑤地域内の働く環境 (20.2%)」「⑫病院などの医療機関 (24.9%)」「③通勤、通学の利便性 (28.0%)」の4つの項目では3割を下回る水準となっている。

【暮らしの各項目への満足度】



「重要」と「やや重要」を合わせた比率は、「⑫病院などの医療機関（96.6%）」「⑯火災や災害からの安全性（95.2%）」「⑭上下水道など生活環境施設の整備（93.7%）」「⑰防犯の体制、交通安全施設の整備状況（93.4%）」「⑪高齢者、障がい者などへの福祉（92.5%）」「⑬道路の整備状況（91.8%）」の6つの項目で9割を超える水準となっている。一方で、「⑦地域の行事・イベント（60.2%）」「⑱文化的活動がしやすい環境（66.6%）」は比較的重要度が低い。

【暮らしの各項目への重要度】



(3) 活動する際の主な行き先・交通手段

【問 9】 普段の生活で、(ア)～(ク)に示す活動をされるときに、主な行き先はどこですか。また、主な交通手段は何ですか。最も多いと思う行き先の番号を、<行き先>から1つ選んで、番号を記入してください。また、主な交通手段の番号を、<交通手段>から1つ選んで、番号を記入してください。

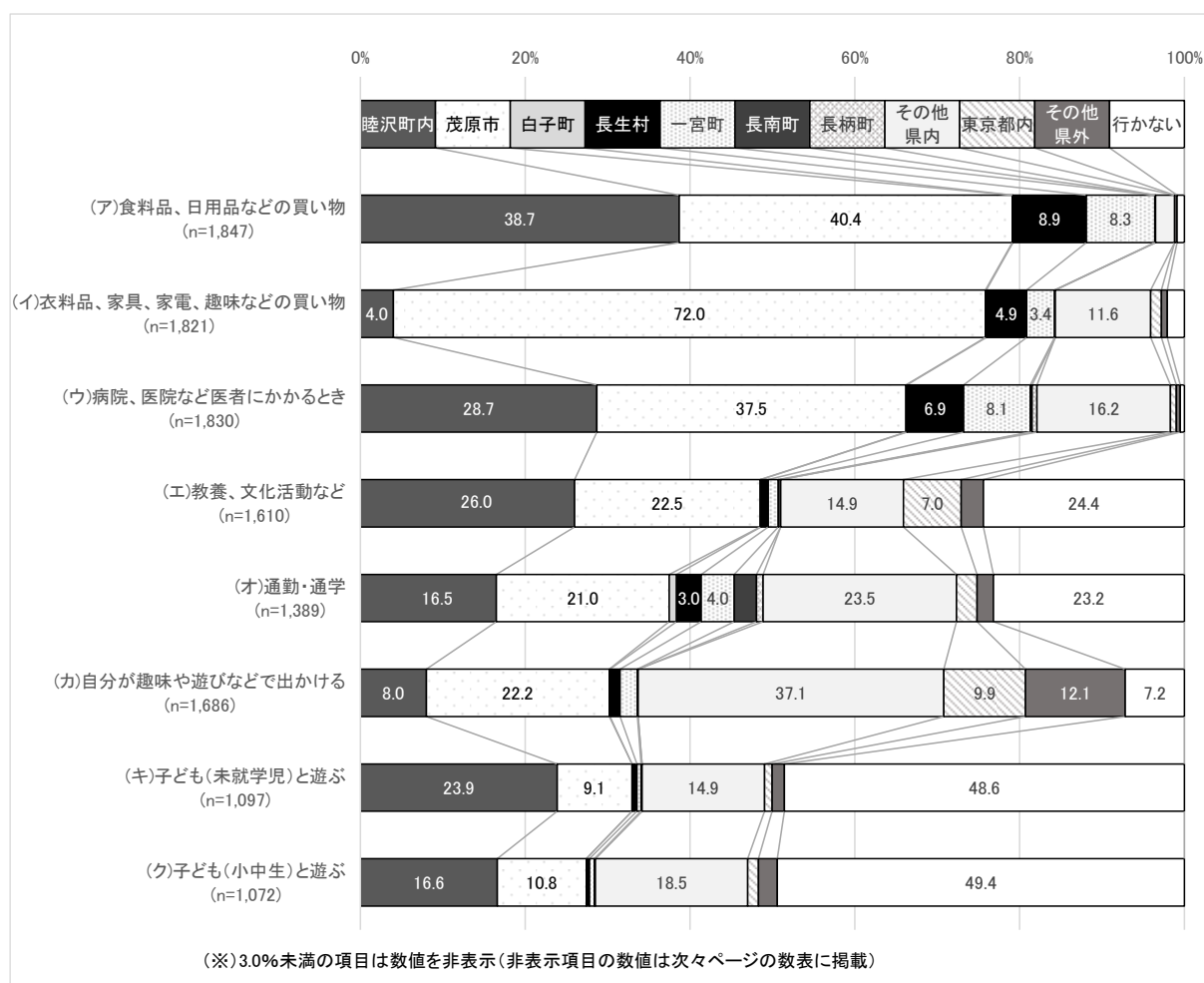
① 全体的な傾向

主な行き先のうち、「行かない」の割合を除いて「睦沢町内」の割合が最も多い活動内容は「(エ) 教養、文化活動など (26.0%)」「(キ) 子ども (未就学児) と遊ぶ (23.9%)」となった。

「行かない」を除き、「茂原市」に次いで「睦沢町内」の割合が多い活動内容は「(ア) 食料品、日用品などの買い物 (茂原市：40.4%、睦沢町内：38.7%)」、「(ウ) 病院、医院など医者にかかるとき (同 37.5%、28.7%)」「(ク) 子ども (小中生) と遊ぶ (その他県内：18.5%、睦沢町内：16.6%)」となった。

「(イ) 衣料品、家具、家電、趣味などの買い物」や「(カ) 自分が趣味や遊びなどで出かける」では「睦沢町内」の割合 (イ：4.0%、カ：8.0%) は1割を下回る水準となった。

【活動する際の主な行き先】

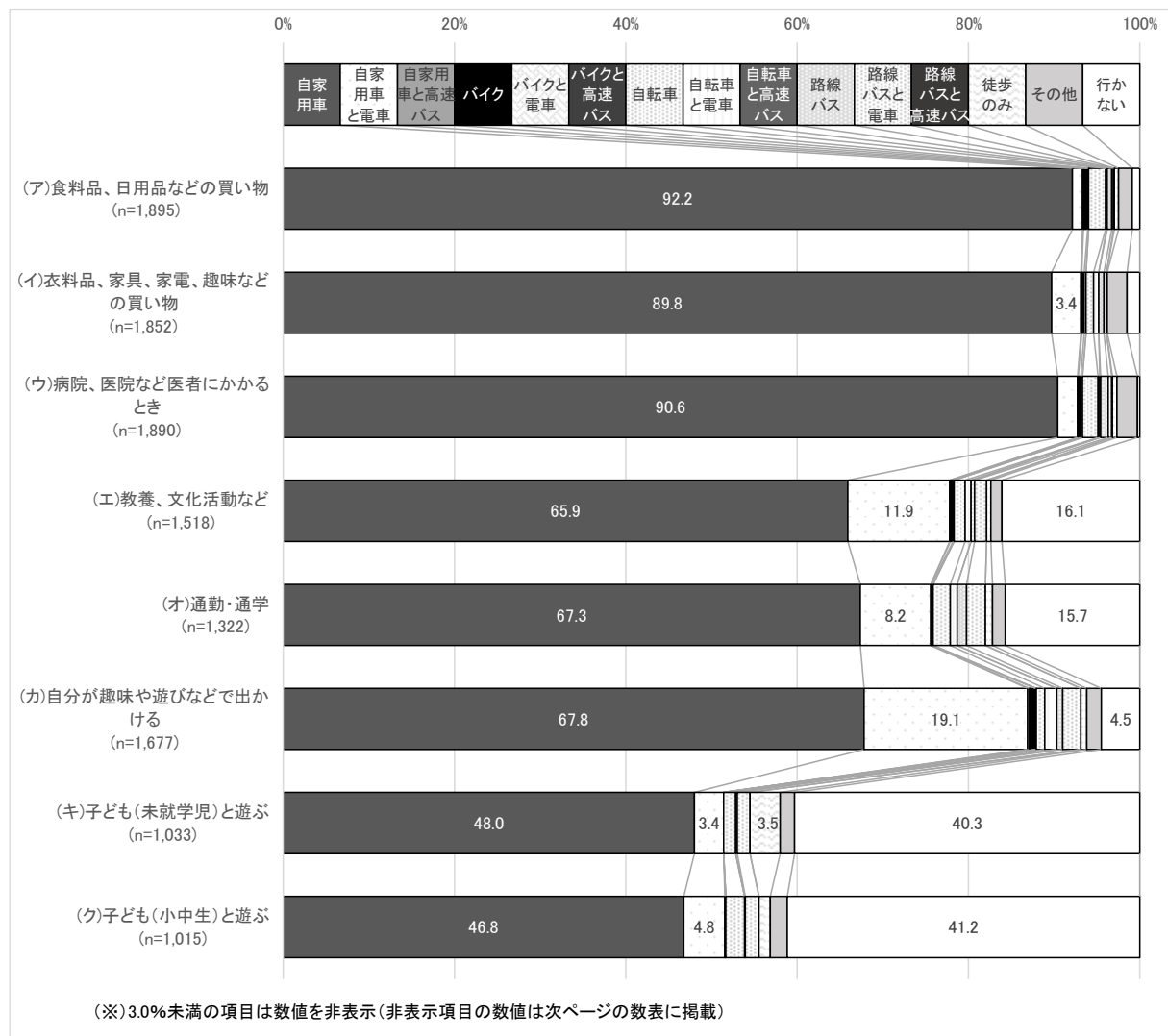


主な交通手段は、「自家用車」が「(ア)食料品、日用品などの買い物 (92.2%)」「(イ)衣料品、家具、家電、趣味などの買い物 (89.8%)」「(ウ)病院、医院など医者にかかるとき (90.6%)」で約9割を占めている。

「(エ)教養、文化活動など」「(オ)通勤・通学」「(カ)自分が趣味や遊びなどで出かける」は「自家用車」の割合がそれぞれ65.9%、67.3%、67.8%と6割半ばほどとなっているが、そのうち「(エ)教養、文化活動など」「(カ)自分が趣味や遊びなどで出かける」では「自家用車と電車」の割合がそれぞれ11.9%、19.1%と1割を超えている。

「(キ)子ども(未就学児)と遊ぶ(自家用車:48.0%、行かない:40.3%)」「(ク)子ども(小中生)と遊ぶ(自家用車:46.8%、行かない:41.2%)」は「自家用車」「行かない」の割合が4割台で拮抗している。

【活動する際の主な交通手段】



【《参考》活動する際の主な行き先（数表）】

(単位:%)

	陸沢町内	茂原市	白子町	長生村	一宮町	長南町	長柄町	その他県内	東京都内	その他県外	行かない
(ア)食料品、日用品などの買い物 (n=1,847)	38.7	40.4	0.1	8.9	8.3	0.1	0.0	2.3	0.0	0.3	0.9
(イ)衣料品、家具、家電、趣味などの買い物 (n=1,821)	4.0	72.0	0.1	4.9	3.4	0.1	0.0	11.6	1.3	0.7	2.1
(ウ)病院、医院など医者にかかるとき (n=1,830)	28.7	37.5	0.1	6.9	8.1	0.2	0.6	16.2	0.7	0.5	0.5
(エ)教養、文化活動など (n=1,610)	26.0	22.5	0.1	0.9	1.2	0.3	0.0	14.9	7.0	2.7	24.4
(オ)通勤・通学 (n=1,389)	16.5	21.0	0.9	3.0	4.0	2.7	0.8	23.5	2.5	2.0	23.2
(カ)自分が趣味や遊びなどで出かける (n=1,686)	8.0	22.2	0.1	1.2	2.1	0.1	0.0	37.1	9.9	12.1	7.2
(キ)子ども(未就学児)と遊ぶ (n=1,097)	23.9	9.1	0.0	0.6	0.5	0.1	0.0	14.9	0.9	1.5	48.6
(ク)子ども(小中生)と遊ぶ (n=1,072)	16.6	10.8	0.0	0.4	0.6	0.1	0.0	18.5	1.3	2.3	49.4

【《参考》活動する際の主な交通手段（数表）】

(単位:%)

	自家用車	自家用車と電車	自家用車と高速バス	バイク	バイクと電車	バイクと高速バス	自転車	自転車と電車	自転車と高速バス	路線バス	路線バスと電車	路線バスと高速バス	徒歩のみ	その他	行かない
(ア)食料品、日用品などの買い物 (n=1,895)	92.2	1.2	0.1	0.5	0.1	0.0	2.0	0.1	0.1	0.5	0.2	0.1	0.5	1.6	0.9
(イ)衣料品、家具、家電、趣味などの買い物 (n=1,852)	89.8	3.4	0.1	0.3	0.2	0.0	0.9	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	0.1	2.3	1.5
(ウ)病院、医院など医者にかかるとき (n=1,890)	90.6	2.3	0.1	0.3	0.2	0.0	1.8	0.2	0.1	0.9	0.4	0.1	0.5	2.4	0.3
(エ)教養、文化活動など (n=1,518)	65.9	11.9	0.1	0.3	0.1	0.0	1.3	0.7	0.0	0.4	1.4	0.0	0.5	1.3	16.1
(オ)通勤・通学 (n=1,322)	67.3	8.2	0.0	0.1	0.2	0.0	2.0	0.8	0.0	1.1	2.2	0.0	0.8	1.5	15.7
(カ)自分が趣味や遊びなどで出かける (n=1,677)	67.8	19.1	0.2	0.7	0.1	0.0	1.0	1.4	0.0	0.7	2.1	0.0	0.7	1.7	4.5
(キ)子ども(未就学児)と遊ぶ (n=1,033)	48.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.2	1.5	0.0	3.5	1.7	40.3
(ク)子ども(小中生)と遊ぶ (n=1,015)	46.8	4.8	0.1	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.1	1.6	0.0	1.3	2.0	41.2

(4) 睦沢町での居住歴

【問 10】睦沢町での居住歴をお伺いします。(単数回答)

睦沢町での居住歴についてたずねたところ、「千葉県内の他の市町村から転入」が 37.7%と最も多く、次いで「生まれてからずっと睦沢町に居住 (28.0%)」「睦沢町出身だが町外での居住歴あり (19.2%)」となった。

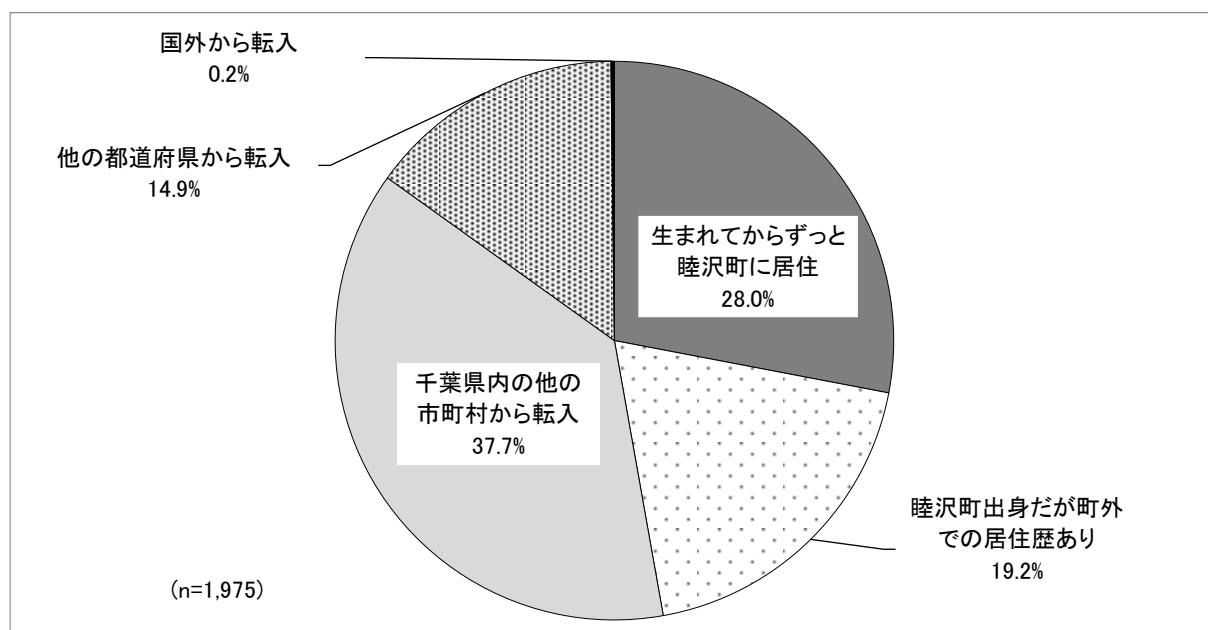
性別では、男性は「生まれてからずっと睦沢町に居住」が 35.3%と最も多い。

年代別では、「生まれてからずっと睦沢町に居住」が 10代 (78.9%) と 20代 (61.0%) で最も多い。

居住年数別では、「千葉県内の他の市町村から転入」が「1年～5年未満 (69.5%)」と「5年～10年未満 (68.6%)」で全体平均 (37.7%) を大きく上回っている。

子どもの有無別では目立った特徴は見られない。

【睦沢町での居住歴 (単純集計)】



【睦沢町での居住歴（属性別）】

(単位:%)

		回答数	生まれてからずっと睦沢町に居住	睦沢町出身だが町外での居住歴あり	千葉県内の他の市町村から転入	他の都道府県から転入	国外から転入
全体		1,975	28.0	19.2	37.7	14.9	0.2
性別	男性	920	35.3	22.0	28.8	13.7	0.2
	女性	1,039	21.4	16.8	45.7	15.9	0.2
	答えたくない	10	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0
年代	10代	38	78.9	0.0	18.4	2.6	0.0
	20代	77	61.0	16.9	18.2	3.9	0.0
	30代	140	24.3	24.3	41.4	10.0	0.0
	40代	236	26.7	25.0	34.7	13.6	0.0
	50代	243	19.8	23.0	45.7	11.1	0.4
	60代	388	26.3	20.9	40.2	12.4	0.3
	70代以上	847	26.9	16.1	37.0	19.8	0.2
居住年数	1年未満	14	0.0	0.0	42.9	57.1	0.0
	1年～5年未満	95	0.0	4.2	69.5	26.3	0.0
	5年～10年未満	86	0.0	8.1	68.6	23.3	0.0
	10年～15年未満	89	1.1	10.1	50.6	37.1	1.1
	15年以上	1,679	32.8	21.2	33.7	12.2	0.2
の子ども有無	就学前の子どもがいる	150	19.3	16.7	48.7	15.3	0.0
	小学生・中学生の子どもがいる	235	19.1	20.9	47.2	12.3	0.4
	高校生の子どもがいる	123	25.2	23.6	39.8	8.9	2.4
	高校生以下の子どもはいない	723	34.2	20.2	37.3	8.3	0.0

(5) 今後の継続居住意向

【問 11】 今後も睦沢町に住み続けたいと思いますか。(単数回答)

① 今回の調査結果 (全体・属性別)

今後の継続居住意向についてたずねたところ、「住み続けたい」が 52.3%で、「どちらかという
と住み続けたい」の 32.5%を加えると、約 8 割 (84.8%) が『今後も住み続けたい』と回答して
いる。

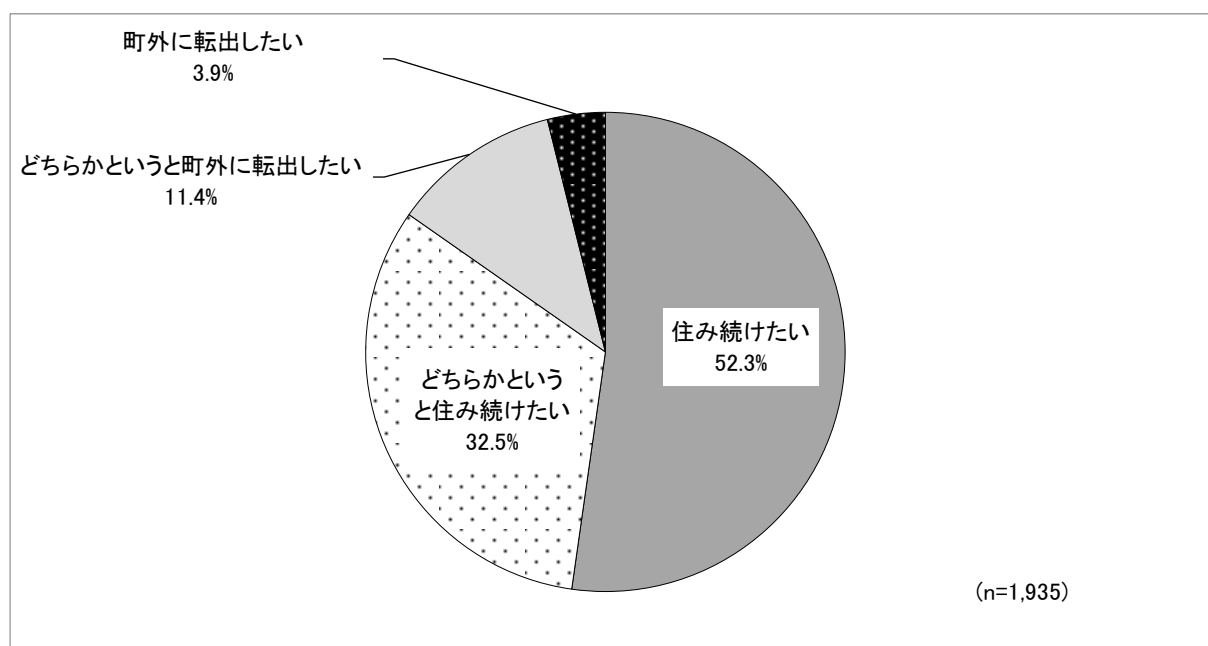
年代別では、年代が高いほど『今後も住み続けたい』の割合が高い傾向が見られるが、10 代で
は 41.0%、20 代では 60.0%と全体平均 (84.8%) を大きく下回っている。

居住年数別では、『今後も住み続けたい』の割合は「1 年未満 (71.4%)」「5 年～10 年未満 (65.9%)」
で全体平均 (84.8%) を大きく下回っている。

子どもの有無別では、『今後も住み続けたい』の割合は「就学前の子どもがいる (82.6%)」「小
学生・中学生の子どもがいる (75.5%)」「高校生の子どものいる (77.7%)」と、子どもがいる人
は全体平均 (84.8%) を下回っている。

居住歴では目立った特徴は見られない。

【今後の継続居住意向 (単純集計)】



【今後の継続居住意向（属性別）】

（単位：％）

		回答数	今後も 住み続けたい	住み 続けたい	どちらか という と住み続け たい	転出 したい	どちらか という と町外に 転出 したい	町外に 転出した い
全体		1,935	84.8	52.3	32.5	15.3	11.4	3.9
性別	男性	907	86.2	56.2	30.0	13.8	10.6	3.2
	女性	1,013	83.8	49.0	34.8	16.1	11.8	4.3
	答えたくない	10	40.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0
年代	10代	39	41.0	12.8	28.2	58.9	33.3	25.6
	20代	75	60.0	22.7	37.3	40.0	26.7	13.3
	30代	140	76.4	32.1	44.3	23.5	17.1	6.4
	40代	237	77.6	31.2	46.4	22.4	17.3	5.1
	50代	243	82.3	39.1	43.2	17.7	14.8	2.9
	60代	386	85.5	50.3	35.2	14.5	11.7	2.8
	70代以上	809	93.1	71.8	21.3	6.9	4.9	2.0
居住年数	1年未満	14	71.4	21.4	50.0	28.5	21.4	7.1
	1年～5年未満	94	80.9	38.3	42.6	19.2	14.9	4.3
	5年～10年未満	85	65.9	23.5	42.4	34.1	25.9	8.2
	10年～15年未満	88	84.1	43.2	40.9	15.9	9.1	6.8
	15年以上	1,646	86.0	55.3	30.7	14.0	10.5	3.5
の子ども 有無	就学前の 子どもがいる	149	82.6	42.3	40.3	17.5	12.8	4.7
	小学生・中学生の 子どもがいる	232	75.5	38.4	37.1	24.6	16.8	7.8
	高校生の 子どもがいる	126	77.7	45.2	32.5	22.2	13.5	8.7
	高校生以下の 子どもはいない	715	85.0	52.0	33.0	14.9	11.7	3.2
居住歴	生まれてからずっと 睦沢町に居住	542	87.8	64.0	23.8	12.2	8.9	3.3
	睦沢町出身だが町外 での居住歴あり	371	86.8	51.2	35.6	13.2	10.8	2.4
	千葉県内の他の 市町村から転入	722	82.6	45.6	37.0	17.5	12.9	4.6
	他の都道府県 から転入	276	82.2	48.9	33.3	17.7	13.0	4.7
	国外から転入	4	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(6) 住み続けたい理由・転出したい理由

【問12】住み続けたい・もしくは転出したいと考える主な理由は何ですか。

(複数回答、3つまで選択可)

① 住み続けたい理由 (今回の調査結果)

住み続けたい理由についてたずねたところ、「まちや地域に愛着がある」が56.5%と最も多く、次いで「自然環境がよい(54.4%)」「近所付き合いや人間関係がよい(33.5%)」「親と親族と住まいが近い(29.7%)」「買い物の利便性がよい(14.2%)」となっている。

性別では、女性では「自然環境がよい」が53.9%と最も多い。

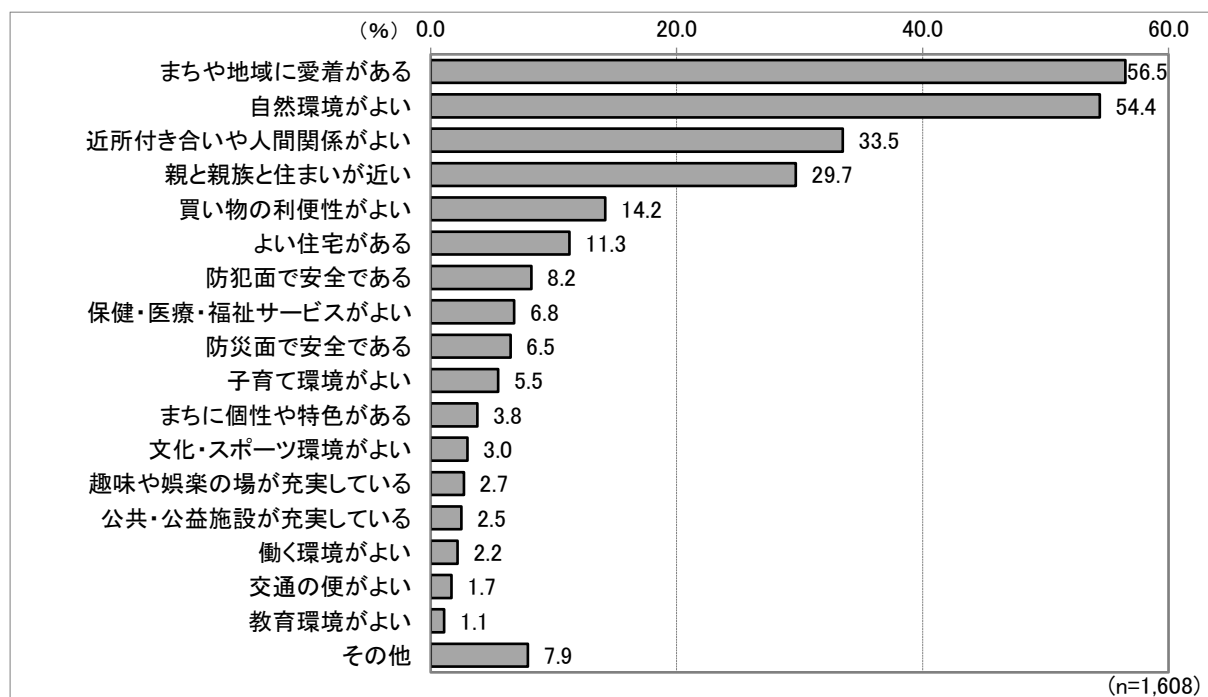
年代別では、10代では「近所付き合いや人間関係がよい」が50.0%と最も多い。30代では「親と親族と住まいが近い」が52.3%と最も多い。40代および50代では「自然環境がよい(40代:55.4%、50代:54.6%)」が最も多い。

居住年数別では、「15年以上」以外は「自然環境がよい(1年未満:70.0%、1年~5年未満:65.3%、5年~10年未満:42.6%、10年~15年未満:64.4%)」が最も多い。

子どもの有無別では、「就学前の子どもがいる」および「高校生の子どもがいる」では「自然環境がよい(就学前の子どもがいる:49.6%、高校生の子どもがいる:57.1%)」が最も多い。

居住歴別では、「千葉県内の他の市町村から転入」および「他の都道府県から転入」では「自然環境がよい(千葉県内の他の市町村から転入:57.7%、他の都道府県から転入:71.4%)」が最も多い。

【住み続けたい理由 (今回の調査結果・単純集計)】



【住みたい理由（「その他」の回答内容①）】

「その他」の回答内容 ※「なし」等は省略
住宅関連の事情(睦沢町内に住宅があるから等)【42件】
個人所有の家がある為
家を建てたから
持ち家があるから
自宅と土地があるから
家があるから
自宅だから
家を購入しちゃったから
家を建てた
家を建てた為
自家がある
持ち家のため
持ち家・土地がある
家があるから
(持ち家も入りますか?)持ち家があるということなら まるです。
持ち家がある
家がある
土地・家があるから
財産があるから
持ち家があるから
自宅
持ち家(一戸建て)
土地と家があるから
不動産があるため
自宅がある
自宅があるから
自宅に愛着がある
持ち家の為
持ち家
家を建ててしまった為帰る所がない
良くはないが自宅がある
家を建てたから
家をすてられない。
持家があるから
家を建てたので住みたいです
家が有るから
生家だから
ローンがある
家を建てた為
家を建てたから(持家)
自宅があるから
自分の家だから
持家だから

「その他」の回答内容 ※「なし」等は省略
町内に住む以外に選択肢がない等【32件】
住み続けるしかないから
他に行く所がない
やむを得ず
他に行く事ができないから
転出する理由がない
転出したいと思う理由がない
年とってほかに選択肢がない。
今更住居を変えたくない
他に行く所がない
現状維持
引っ越すのが面倒
しかたない
引越し面倒
高齢のためやもうえず
これといて町外に出ていく必要なし
町に愛着があるとかがいわけじゃなく別に町外に出て いく必要がない
別にこれまで住んでいたのでも町外に出ていく必要が ない
特に町外に出ていく必要がない
引越しが面倒
特に町外へ出ていく必要がない
転出できないだけ
一人ぐらして行くところがない
転出しようと思わない
先祖の墓もあるし、住み続けざるをえない
決めたので、移住時に。
出る必要がない
他に場所がない
移転する費用がない
行く所が無いから
他に移住できないので仕方なく
年齢的に転出は困難
他の所に住んだことがないので
のどかな環境【8件】
のんびりしてる
良くも悪くも田舎
静かさ
静かに暮せる
みんなと話をしてゆっくりする場。喫茶店やスーパー が少ない所。
自宅が主要道路から離れており、車の音があまり聞 こえず静かだから。
静かで良い
美しい田園風景と里山が魅力
家族・親族関連の事情【5件】
家族と同居している為
生まれて嫁いだから
配偶者がいる限り
子供を転校させたくない為
子供が町内の学校に通っているから

【住み続けたい理由（「その他」の回答内容②）】

「その他」の回答内容 ※「なし」等は省略	
地元への愛着【4件】	
	生まれ育った故郷だから
	睦沢町で生まれたから
	地元だから
	地元が良い
仕事関連の事情【2件】	
	自社が町内である
	仕事場に近い
その他	
	自然災害の心配が低い
	医療関係の充実、緊急時不安、医療機関少なすぎ
	カスミ
	おいしいお米がある
	議員定数7人
	グループホームに行きたくないから
	特に理由はない
	ライフスタイルと金銭的な理由
	なぜ病院は1件しかないのか、王様が院長になっている
	どこでも良い
	実家は陽当りが悪い
	税金が安い
	なんとなく
	近所付き合いをしなくて良い
	イノシシ、キョン、カラスなどを駆除してください
	通勤・帰省の事を考えると、立地条件が良い
	物価が安い
	高齢にてどこにも出掛けない
	●●（※個人情報のため非表示）は町内のグループホームで、生活しています。家は空き家です。息子（長男）が不定期ですが家のメンテナンスをしています。
	ただいるだけ

【住みたい理由（属性別①）】

（単位：％）

		回答数	まちや地域に愛着がある	まちに個性や特色がある	自然環境がよい	近所付き合いや人間関係がよい	働く環境がよい	子育て環境がよい	教育環境がよい	買い物の利便性がよい	交通の便がよい
全体		1,608	56.5	3.8	54.4	33.5	2.2	5.5	1.1	14.2	1.7
性別	男性	771	62.9	4.4	55.0	33.7	2.5	5.2	1.3	14.3	1.9
	女性	829	50.8	3.3	53.9	33.3	2.1	5.9	1.0	14.2	1.6
	答えたくない	4	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代	10代	16	43.8	18.8	43.8	50.0	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0
	20代	45	57.8	6.7	48.9	13.3	0.0	4.4	0.0	8.9	2.2
	30代	107	48.6	5.6	44.9	22.4	2.8	20.6	0.9	14.0	2.8
	40代	184	50.5	3.8	55.4	24.5	4.3	15.2	2.2	9.8	1.1
	50代	196	48.0	6.1	54.6	24.5	2.6	4.6	1.0	8.2	0.5
	60代	328	56.1	3.4	55.2	32.9	1.8	4.9	0.9	13.1	1.5
	70代以上	727	62.3	2.6	56.0	41.0	1.9	1.5	0.8	18.2	2.2
居住年数	1年未満	10	30.0	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	1年～5年未満	75	25.3	9.3	65.3	38.7	4.0	14.7	2.7	18.7	2.7
	5年～10年未満	54	22.2	9.3	42.6	29.6	3.7	18.5	0.0	24.1	1.9
	10年～15年未満	73	31.5	2.7	64.4	30.1	5.5	12.3	2.7	8.2	0.0
	15年以上	1,388	61.1	3.3	53.6	33.4	1.9	4.3	1.0	13.7	1.8
子どもの有無	就学前の子どもがいる	121	47.1	4.1	49.6	30.6	4.1	25.6	1.7	12.4	1.7
	小学生・中学生の子どもがいる	173	52.0	2.3	49.1	32.9	3.5	20.8	2.9	9.8	1.2
	高校生の子どもがいる	98	53.1	7.1	57.1	28.6	0.0	10.2	2.0	11.2	1.0
	高校生以下の子どもはいない	596	61.1	3.5	53.0	30.0	1.8	2.3	0.7	12.6	1.3
居住歴	生まれてからずっと睦沢町に居住	470	71.3	3.4	48.3	34.3	1.5	2.8	1.5	11.1	1.1
	睦沢町出身だが町外での居住歴あり	318	68.9	2.2	46.5	30.5	1.6	4.4	0.3	10.4	0.9
	千葉県内の他の市町村から転入	582	44.8	4.5	57.7	32.3	2.6	8.2	1.4	18.6	2.1
	他の都道府県から転入	220	40.0	5.0	71.4	38.6	4.1	5.9	0.9	15.9	3.2
	国外から転入	4	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0

【住みたい理由（属性別②）】

（単位：％）

		回答数	防犯面で安全である	防災面で安全である	保健・医療・福祉サービスがよい	文化・スポーツ環境がよい	公共・公益施設が充実している	趣味や娯楽の場が充実している	親と親族と住まいが近い	よい住宅がある	その他
全体		1,608	8.2	6.5	6.8	3.0	2.5	2.7	29.7	11.3	7.9
性別	男性	771	9.2	7.3	6.4	3.5	2.5	3.0	25.4	11.8	7.7
	女性	829	7.4	5.8	7.2	2.7	2.5	2.5	33.7	10.7	8.0
	答えたくない	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
年代	10代	16	6.3	0.0	0.0	12.5	6.3	6.3	18.8	12.5	0.0
	20代	45	11.1	6.7	6.7	8.9	2.2	0.0	37.8	13.3	11.1
	30代	107	4.7	5.6	0.9	0.9	1.9	0.9	52.3	15.9	3.7
	40代	184	6.5	4.9	2.2	2.7	1.6	2.2	45.1	8.2	9.2
	50代	196	12.8	6.6	2.6	1.5	1.5	0.5	37.2	14.8	12.8
	60代	328	6.7	4.6	4.3	2.1	1.5	1.8	27.1	12.8	11.6
	70代以上	727	8.5	8.1	11.3	3.7	3.4	4.3	21.0	9.6	5.0
居住年数	1年未満	10	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0
	1年～5年未満	75	4.0	5.3	1.3	1.3	1.3	1.3	26.7	25.3	8.0
	5年～10年未満	54	7.4	3.7	3.7	5.6	3.7	0.0	38.9	24.1	9.3
	10年～15年未満	73	8.2	11.0	6.8	4.1	2.7	2.7	20.5	11.0	16.4
	15年以上	1,388	8.4	6.5	7.1	3.0	2.5	2.9	30.0	10.2	7.4
子どもの有無	就学前の子どもがいる	121	5.0	7.4	3.3	3.3	1.7	0.8	43.8	19.8	4.1
	小学生・中学生の子どもがいる	173	6.4	5.2	4.6	2.9	0.6	1.2	45.1	9.2	4.6
	高校生の子どもがいる	98	7.1	2.0	10.2	2.0	2.0	0.0	39.8	15.3	7.1
	高校生以下の子どもはいない	596	8.4	6.2	5.4	3.5	2.3	2.7	29.5	9.4	9.4
居住歴	生まれてからずっと睦沢町に居住	470	7.9	5.7	6.6	2.1	2.3	1.9	32.3	8.5	7.2
	睦沢町出身だが町外での居住歴あり	318	7.5	4.1	5.7	2.5	2.2	1.3	40.3	10.4	6.6
	千葉県内の他の市町村から転入	582	7.4	6.5	6.4	3.8	2.4	3.6	27.1	12.7	9.3
	他の都道府県から転入	220	11.8	10.9	10.0	4.1	3.6	4.5	15.5	15.0	6.8
	国外から転入	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0

② 転出したい理由（今回の調査結果）

転出したい理由についてたずねたところ、「交通の便がよくない」が69.7%と突出して多く、次いで「買い物の利便性がよくない(46.6%)」「近所付き合いや人間関係がわずらわしい(22.8%)」「働く環境がよくない(22.4%)」「趣味や娯楽の場が充実していない(21.0%)」となっている。属性別にみると、全ての属性で「交通の便がよくない」が最も多い。

性別では目立った特徴は見られない。

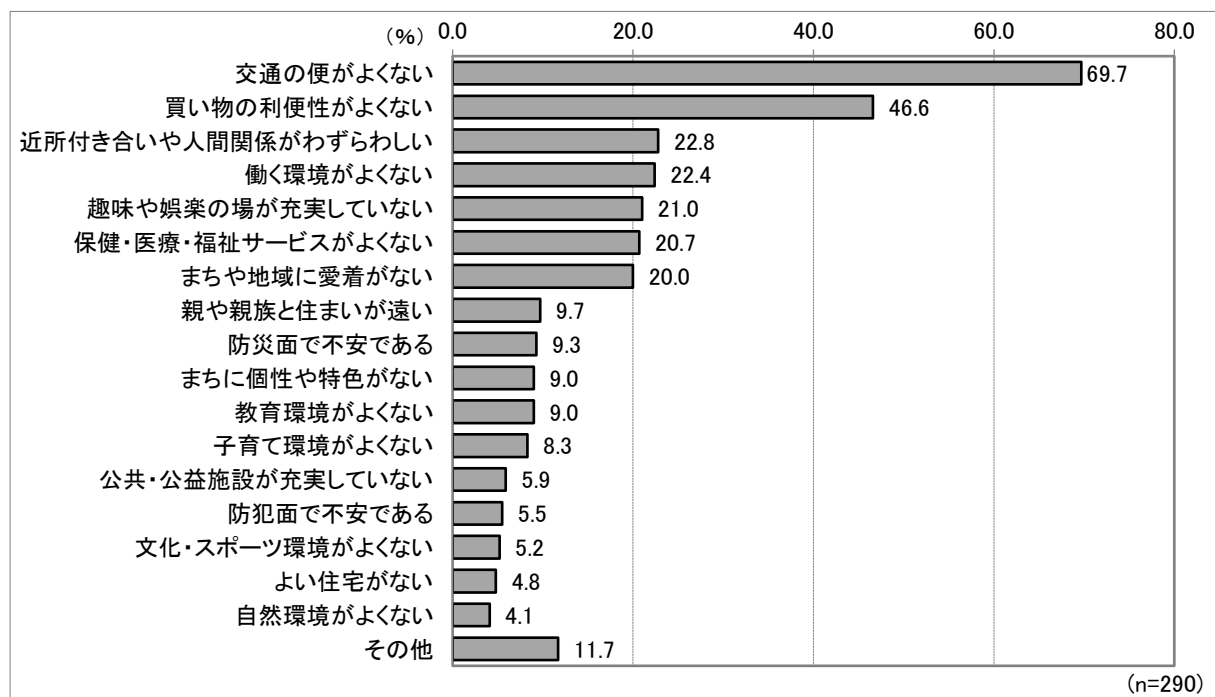
年代別では、10代および20代では、全体とは異なり「趣味や娯楽の場が充実していない(10代:40.9%、20代:50.0%)」が2番目に多い。30代では「働く環境がよくない(42.4%)」が2番目に多い。

居住年数別では、「5年～10年未満」では「近所付き合いや人間関係がわずらわしい(41.4%)」が2番目に多い。

子どもの有無別では、「就学前の子どもがいる」では「子育て環境がよくない(42.3%)」「教育環境がよくない(42.3%)」が2番目に多い。

居住歴別では目立った特徴は見られない。

【転出したい理由（今回の調査結果・単純集計）】



【転出したい理由（「その他」の回答内容）】

「その他」の回答内容 ※「なし」等は省略	
人づきあいが上手くいっていない【6件】	
	部落の付き合いが大変
	部落の役員
	村八分にされている。
	怖い人がいるので離れたい
	自分勝手が多い
	好い・良い出会いがなかった。継っても親身な人がいない。
医療が不十分【5件】	
	総合病院がない
	充実した病院が長生郡内にない
	病院が一つしかない、予約できないからすごく待つ
	病院が近くにない
	病院が遠い
奉仕活動が面倒【4件】	
	草刈が大変
	草刈り等管理が大変。
	奉仕作業が多い。草刈り、祭り、神社等
	区の当番、草刈り等面倒。足・腰 悪くなって出る？出られない？
仕事関連の事情【3件】	
	働く場所がない。将来の子供も含め。
	希望する職場が皆無
	仕事の都合（転勤）
住環境が良くない等【3件】	
	スクラップヤードによる騒音、振動、粉塵被害に無策であるから
	近所にスクラップヤードがあるため
	ソーラーパネル殺風景な山が多い
子ども関連の事情【3件】	
	子供の近くに引っ越す
	子育て支援も無くなった。室内遊び場がない。将来子供が町外に通学する時困る。
	子育て環境・福祉
消防団関連の事情【2件】	
	(消防操法が負担となっている為)同じ広域市町村圏・組合なのに睦沢町だけ町をあげて操法に広域の負担金を投入していることが理解に苦しむため
	消防の勧誘
自身の通学の事情【2件】	
	大学進学にあたって自宅通学が厳しい
	大学に行くため
高齢者にとって住みづらい等【2件】	
	介護、高齢者が住みにくい。※子育ても大事だが、介護者の事も考えてほしい。
	高齢になり車の運転ができなくなると移動ができない。
その他	
	一人ぐらしで行くところがない
	家を建ててしまった。
	ぼうけん
	見聞きを上げ視野を高めたいから
	両親が亡くなったら転出したい
	アシダカグモが大嫌いだから
	年寄りばかり。高齢者対象中心で困る
	違う場所で暮らしたい
	実家に戻る可能性がある
	農ある暮らし、自給自足、半農半xを始めにくい
	ゴミぶくろが高い

【転出したい理由（属性別①）】

（単位：％）

		回答数	まちや地域に愛着がない	まちに個性や特色がない	自然環境がよくない	近所付き合いや人間関係がわずらわしい	働く環境がよくない	子育て環境がよくない	教育環境がよくない	買い物利便性がよくない	交通の便がよくない
全体		290	20.0	9.0	4.1	22.8	22.4	8.3	9.0	46.6	69.7
性別	男性	122	23.0	10.7	3.3	25.4	19.7	10.7	8.2	49.2	63.9
	女性	162	17.3	8.0	4.9	21.6	24.7	6.8	9.9	43.8	73.5
	答えたくない	6	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	66.7	83.3
年代	10代	22	13.6	4.5	0.0	9.1	36.4	0.0	0.0	31.8	77.3
	20代	30	13.3	10.0	0.0	16.7	40.0	3.3	3.3	46.7	76.7
	30代	33	18.2	6.1	0.0	30.3	42.4	27.3	21.2	39.4	63.6
	40代	53	22.6	13.2	3.8	24.5	22.6	22.6	30.2	37.7	62.3
	50代	43	25.6	7.0	2.3	32.6	11.6	2.3	0.0	46.5	69.8
	60代	55	23.6	10.9	10.9	25.5	18.2	1.8	1.8	49.1	65.5
	70代以上	53	17.0	7.5	5.7	15.1	7.5	0.0	0.0	62.3	77.4
居住年数	1年未満	4	75.0	25.0	0.0	50.0	50.0	25.0	0.0	50.0	50.0
	1年～5年未満	18	22.2	11.1	5.6	16.7	27.8	27.8	27.8	27.8	61.1
	5年～10年未満	29	31.0	24.1	3.4	41.4	10.3	24.1	17.2	34.5	48.3
	10年～15年未満	14	28.6	0.0	0.0	7.1	28.6	7.1	14.3	28.6	85.7
	15年以上	225	16.9	7.1	4.4	21.3	22.7	4.4	6.2	50.7	72.4
子どもの有無	就学前の子どもがいる	26	19.2	11.5	0.0	23.1	26.9	42.3	42.3	26.9	50.0
	小学生・中学生の子どもがいる	56	16.1	7.1	5.4	28.6	17.9	17.9	23.2	35.7	66.1
	高校生の子どもがいる	26	30.8	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0	7.7	30.8	73.1
	高校生以下の子どもはいない	106	17.0	7.5	3.8	24.5	27.4	1.9	1.9	52.8	74.5
居住歴	生まれてからずっと睦沢町に居住	65	15.4	7.7	3.1	20.0	33.8	3.1	3.1	43.1	70.8
	睦沢町出身だが町外での居住歴あり	49	10.2	12.2	4.1	30.6	32.7	18.4	22.4	46.9	57.1
	千葉県内の他の市町村から転入	123	25.2	10.6	4.1	22.8	17.9	8.1	7.3	49.6	73.2
	他の都道府県から転入	48	22.9	4.2	6.3	18.8	8.3	6.3	8.3	41.7	72.9
	国外から転入	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【転出したい理由（属性別②）】

（単位：％）

		回答数	防犯面で不安である	防災面で不安である	保健・医療・福祉サービスがよくない	文化・スポーツ環境がよくない	公共・公益施設が充実していない	趣味や娯楽の場が充実していない	親や親族と住まいが遠い	よい住宅がない	その他
全体		290	5.5	9.3	20.7	5.2	5.9	21.0	9.7	4.8	11.7
性別	男性	122	5.7	10.7	18.0	8.2	7.4	18.0	4.9	4.1	12.3
	女性	162	5.6	8.6	21.6	3.1	4.9	22.2	13.6	5.6	11.7
	答えたくない	6	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
年代	10代	22	0.0	4.5	9.1	4.5	13.6	40.9	0.0	4.5	22.7
	20代	30	0.0	0.0	13.3	3.3	3.3	50.0	3.3	13.3	10.0
	30代	33	12.1	9.1	21.2	15.2	9.1	21.2	6.1	9.1	6.1
	40代	53	5.7	5.7	20.8	7.5	9.4	24.5	9.4	3.8	9.4
	50代	43	4.7	11.6	16.3	4.7	0.0	20.9	4.7	7.0	11.6
	60代	55	5.5	10.9	25.5	0.0	5.5	7.3	9.1	1.8	18.2
	70代以上	53	7.5	17.0	28.3	3.8	3.8	7.5	24.5	0.0	7.5
居住年数	1年未満	4	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0
	1年～5年未満	18	11.1	5.6	22.2	5.6	0.0	22.2	11.1	0.0	16.7
	5年～10年未満	29	10.3	10.3	6.9	6.9	6.9	20.7	6.9	10.3	10.3
	10年～15年未満	14	0.0	0.0	14.3	21.4	0.0	14.3	7.1	7.1	7.1
	15年以上	225	4.9	10.2	23.1	3.6	6.2	20.9	9.8	3.6	12.0
子どもの有無	就学前の子どもがいる	26	7.7	3.8	15.4	7.7	3.8	26.9	15.4	15.4	11.5
	小学生・中学生の子どもがいる	56	8.9	7.1	14.3	10.7	5.4	23.2	10.7	8.9	10.7
	高校生の子どもがいる	26	0.0	7.7	7.7	3.8	7.7	23.1	7.7	3.8	15.4
	高校生以下の子どもはいない	106	5.7	12.3	17.9	4.7	5.7	21.7	5.7	1.9	11.3
居住歴	生まれてからずっと睦沢町に居住	65	1.5	6.2	21.5	3.1	7.7	30.8	3.1	6.2	10.8
	睦沢町出身だが町外での居住歴あり	49	6.1	8.2	24.5	8.2	6.1	26.5	4.1	8.2	12.2
	千葉県内の他の市町村から転入	123	5.7	10.6	20.3	5.7	3.3	19.5	8.1	3.3	12.2
	他の都道府県から転入	48	10.4	10.4	16.7	4.2	8.3	8.3	27.1	4.2	12.5
	国外から転入	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3. 町の将来像について

(1) 将来の睦沢町にふさわしいキーワード

【問 13】 将来の睦沢町の姿にふさわしいキーワードは以下のうち何だと思えますか。

(複数回答、3つまで選択可)

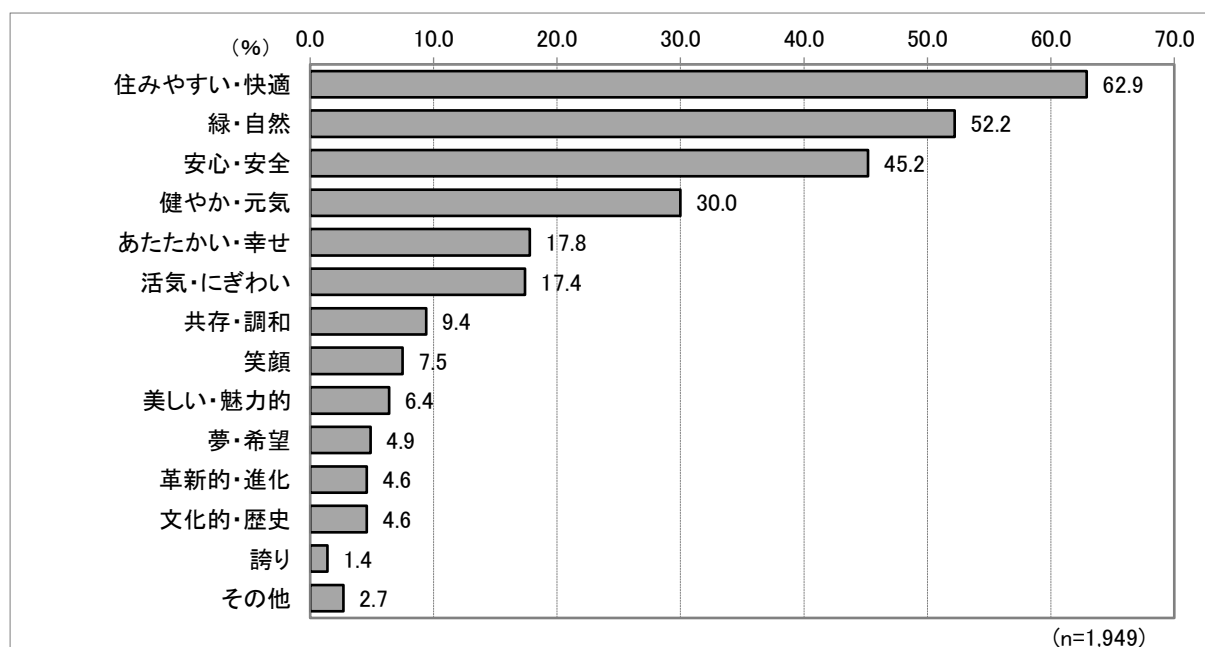
将来の睦沢町の姿にふさわしいキーワードについてたずねたところ、「住みやすい・快適」が62.9%と最も多く、次いで「緑・自然 (52.2%)」「安心・安全 (45.2%)」「健やか・元気 (30.0%)」「あたたかい・幸せ (17.8%)」となった。

性別では目立った特徴は見られない。

年代別では、10代および40代では「緑・自然 (10代：71.8%、40代：63.4%)」が最も多い。

居住年数別および子どもの有無別では目立った特徴は見られない。

【将来の睦沢町にふさわしいキーワード (単純集計)】



【将来の睦沢町にふさわしいキーワード（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容 ※「なし」等は省略	
「のどかな環境」関連【7件】	
	変わらない日常
	静か
	何もない
	何もない。余計なものがない。
	ほど良い環境
	田んぼ・里山
	自然の音と香り、空の広さ、夜空の美しさ、静けさ
「働く・仕事」関連【7件】	
	働く場所の確保
	仕事＝収入
	工業団地を作る
	働く企業があること
	仕事がない、農業も衰退方向。
	仕事
	工業用地の導入
「交通」関連【5件】	
	バスの自由
	交通機関の充実
	交通の利便性
	交通の便
	交通
「教育・子育て」関連【4件】	
	教育
	教育の充実
	人間性・教育
	子育てしやすい
「医療」関連【3件】	
	病院
	病院の充実
	病院
「介護・福祉」関連【3件】	
	介護しやすい環境
	老後住みやすい町、安心安全に住める町
	老後

「その他」の回答内容 ※「なし」等は省略	
その他	
	子供と年寄が元気で笑いが生まれる街づくり→このためには何が必要か
	1～13まではすでにあると思います。今時はSNS等で街をもっとアピールした方が良いと思います。
	食
	ゆとりある家庭菜園
	引越がめんどうである
	規制緩和
	荒廃、斜陽、憂い
	8.野生動物や野良猫など→TNRの認知を広めて欲しい。9.人にやさしく、動物にもやさしい、そんな睦沢に！。12.野生動物の棲みかをうばわず。
	町内会費、役員、草刈どうにかなりませんか？仕事しながらきつい、出ないと住みにくいストレスを感じる、通勤しながらやっているのはきつい
	芸術性
	過去や慣習にとらわれず、睦沢独自の歩み
	EV車の充電スポットを増やしてほしいです
	地域的には無理
	環境保全に限界がある。多目的予算を部落に多くしないと知らないふりをする人、助け合いが少なく限界がある。
	プラッツ(PLATZ)広場
	柔軟に変化する
	挑戦
	銀行(郵便局以外)
	過疎、シルバー化

【将来の睦沢町にふさわしいキーワード（属性別①）】

（単位：％）

		回答数	健やか・ 元気	住みやす い・快適	活気・に ぎわい	あたたか い・幸せ	美しい・ 魅力的	夢・希望	誇り
全体		1,949	30.0	62.9	17.4	17.8	6.4	4.9	1.4
性別	男性	907	28.6	66.4	19.5	15.3	7.7	6.8	1.2
	女性	1,027	31.4	60.2	15.6	19.9	5.2	3.0	1.6
	答えたくない	10	10.0	40.0	10.0	30.0	0.0	10.0	0.0
年代	10代	39	17.9	43.6	33.3	25.6	10.3	2.6	0.0
	20代	74	21.6	60.8	18.9	24.3	9.5	5.4	2.7
	30代	141	23.4	61.0	18.4	26.2	7.8	5.0	0.0
	40代	238	32.8	56.7	15.5	18.5	8.0	2.1	0.8
	50代	245	23.3	67.3	20.4	18.8	7.3	7.3	0.0
	60代	382	27.7	65.4	20.4	16.0	7.6	5.8	1.6
	70代以上	823	34.8	63.8	14.5	15.8	4.4	4.5	2.1
居住年数	1年未満	14	28.6	78.6	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0
	1年～5年未満	95	20.0	62.1	16.8	21.1	11.6	6.3	0.0
	5年～10年未満	85	25.9	56.5	17.6	16.5	7.1	7.1	1.2
	10年～15年未満	89	33.7	57.3	19.1	18.0	6.7	3.4	3.4
	15年以上	1,656	30.7	63.5	17.2	17.7	5.9	4.8	1.4
子どもの有無	就学前の 子どもがいる	151	22.5	64.2	20.5	25.8	9.3	4.0	0.0
	小学生・中学生 の子どもがいる	231	26.4	61.0	19.0	18.2	7.4	4.3	0.4
	高校生の 子どもがいる	124	34.7	57.3	20.2	21.8	4.8	8.1	0.8
	高校生以下の 子どもはいない	711	28.3	61.7	17.4	18.0	6.0	6.2	1.4

【将来の睦沢町にふさわしいキーワード（属性別②）】

(単位: %)

		回答数	共存 ・調和	安心 ・安全	革新的 ・進化	文化的 ・歴史	緑・自然	笑顔	その他
全体		1,949	9.4	45.2	4.6	4.6	52.2	7.5	2.7
性別	男性	907	11.1	45.4	6.0	5.0	48.1	6.2	3.2
	女性	1,027	8.0	44.9	3.5	4.2	56.1	8.8	2.0
	答えたくない	10	0.0	60.0	0.0	10.0	50.0	0.0	10.0
年代	10代	39	15.4	20.5	7.7	17.9	71.8	7.7	0.0
	20代	74	6.8	37.8	12.2	5.4	55.4	6.8	4.1
	30代	141	12.1	34.0	7.1	4.3	61.0	5.7	4.3
	40代	238	8.4	34.5	2.5	6.3	63.4	8.8	4.2
	50代	245	8.6	44.9	7.8	3.7	50.2	4.9	2.4
	60代	382	8.1	48.2	4.5	2.4	47.4	5.8	2.1
	70代以上	823	10.1	50.9	3.0	4.6	49.5	9.2	2.2
居住年数	1年未満	14	14.3	50.0	14.3	7.1	57.1	14.3	0.0
	1年～5年未満	95	12.6	41.1	9.5	4.2	56.8	7.4	4.2
	5年～10年未満	85	11.8	37.6	2.4	5.9	55.3	5.9	5.9
	10年～15年未満	89	12.4	39.3	3.4	4.5	52.8	5.6	7.9
	15年以上	1,656	8.9	46.2	4.5	4.5	51.8	7.7	2.1
の有無 子ども	就学前の 子どもがいる	151	7.9	36.4	2.6	3.3	57.6	9.3	4.6
	小学生・中学生 の子どもがいる	231	10.0	40.3	4.3	6.5	59.3	5.2	3.5
	高校生の 子どもがいる	124	12.1	38.7	4.8	5.6	55.6	12.1	2.4
	高校生以下の 子どもはいない	711	9.6	45.0	5.5	4.5	49.9	5.8	3.1

4. 健康まちづくりについて

(1) 現在の健康状態（主観的健康感）

【問 14】現在のあなたの健康状態はいかがですか。（単数回答）

① 今回の調査結果

現在の健康状態（主観的健康感）についてたずねたところ、「とてもよい」が13.0%で、「まあよい（65.9%）」を合わせた『良い』の割合が78.9%と、約8割が『良い』と回答した。

性別では目立った特徴は見られない。

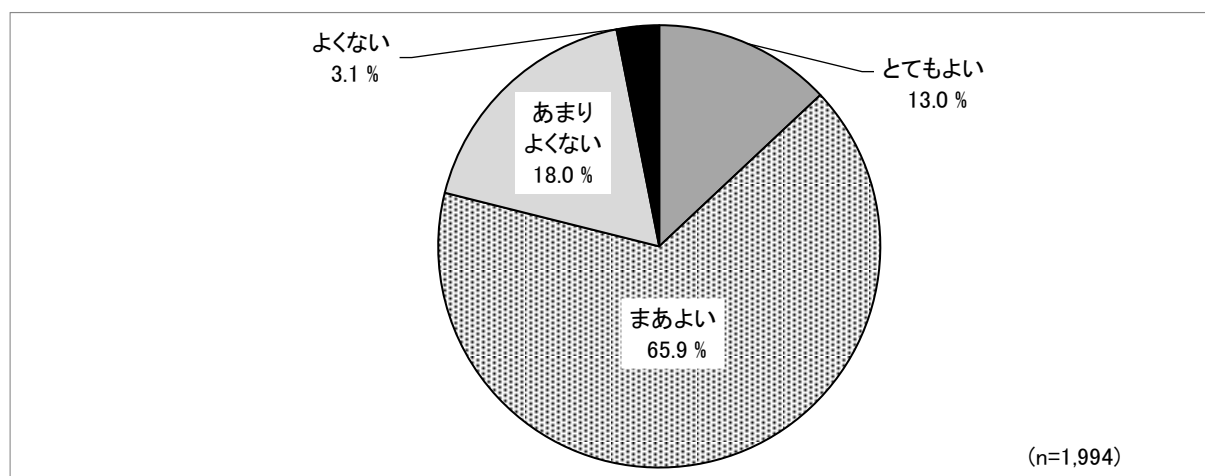
年代別では、年代が上がるほど『良い』の回答割合が低い傾向が見られる。

居住年数別では「1年～5年未満」では『良い』が87.3%と、最も割合が多い。

子どもの有無別では、『良い』の割合は「就学前の子どもいる」が87.4%、「小学生・中学生の子どもがいる」が87.7%、「高校生の子どもがいる」が85.8%と、「子どもがいる」人は『良い』の割合が平均以上となった。

問17の「道の駅の利用経験の有無」とクロス集計を行ったところ、『良い』の割合は「(道の駅を) 利用したことがある (80.4%)」が「利用したことがない (70.7%)」を+9.7ポイント上回った。

【現在の健康状態（単純集計）】



【現在の健康状態（属性別）】

(単位:%)

		回答数	良い	ととも		良く ない	あまり	
				よい	まあよい		よくない	よくない
全体		1,994	78.9	13.0	65.9	21.1	18.0	3.1
性別	男性	929	78.7	14.4	64.3	21.3	18.2	3.1
	女性	1,049	79.1	11.8	67.3	20.9	17.8	3.1
	答えたくない	10	90.0	10.0	80.0	10.0	10.0	0.0
年代	10代	39	92.4	46.2	46.2	7.7	5.1	2.6
	20代	77	87.1	39.0	48.1	13.0	10.4	2.6
	30代	142	88.0	23.9	64.1	12.0	11.3	0.7
	40代	239	81.6	18.0	63.6	18.4	15.9	2.5
	50代	245	85.7	13.9	71.8	14.2	11.8	2.4
	60代	390	82.1	10.0	72.1	17.9	16.4	1.5
	70代以上	854	72.2	7.1	65.1	27.7	23.3	4.4
居住年数	1年未満	14	78.6	14.3	64.3	21.4	21.4	0.0
	1年～5年未満	95	87.3	28.4	58.9	12.7	11.6	1.1
	5年～10年未満	87	82.7	19.5	63.2	17.2	17.2	0.0
	10年～15年未満	89	80.9	13.5	67.4	19.1	16.9	2.2
	15年以上	1,697	78.2	11.8	66.4	21.8	18.4	3.4
子どもの有無	就学前の子どもがいる	151	87.4	21.2	66.2	12.6	9.3	3.3
	小学生・中学生の子どもがいる	236	87.7	17.8	69.9	12.3	10.2	2.1
	高校生の子どもがいる	127	85.8	19.7	66.1	14.2	13.4	0.8
	高校生以下の子どもはいない	729	77.7	12.5	65.2	22.3	19.3	3.0
道の利用の有無	利用したことがある	1,713	80.4	13.9	66.5	19.6	16.7	2.9
	利用したことがない	266	70.7	7.9	62.8	29.3	25.2	4.1

(2) 健康への意識

【問 15】健康には気を配る方ですか。(単数回答)

① 今回の調査結果

健康には気を配るかたずねたところ、「とても気を配る」が 21.5%で、「まあ気を配る (64.7%)」を合わせた『気を配る』の割合は 86.2%と、8割以上が『気を配る』と回答した。

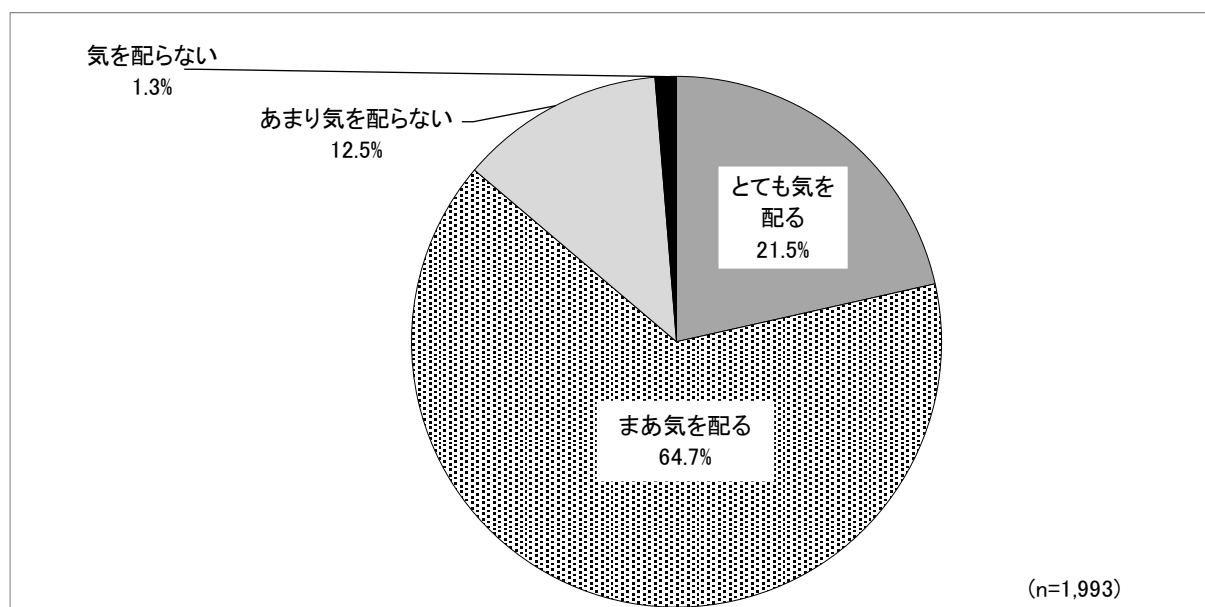
性別では、目立った差異は見られない。

年代別では、年代が上がるほど『気を配る』の割合が高い傾向が見られる。

居住年数別では、『気を配る』の割合は「1年未満」が 92.9%と最も多い。

子どもの有無別では、『気を配る』の割合は「就学前の子どもいる」が 79.5%、「小学生・中学生の子どもがいる」が 79.2%、「高校生の子どものいる」が 79.5%と、「子どもがいる」人は『気を配る』の割合が平均以下となった。

【健康への意識 (単純集計)】



【健康への意識（属性別）】

（単位：%）

		回答数	気を配る			配らない	あまり気を配らない	
			気を配る	とても気を配る	まあ気を配る		あまり気を配らない	気を配らない
全体		1,993	86.2	21.5	64.7	13.8	12.5	1.3
性別	男性	927	82.7	22.5	60.2	17.2	15.4	1.8
	女性	1,049	89.3	20.7	68.6	10.7	9.8	0.9
	答えたくない	11	81.8	9.1	72.7	18.2	18.2	0.0
年代	10代	39	76.9	15.4	61.5	23.1	20.5	2.6
	20代	77	76.6	19.5	57.1	23.4	18.2	5.2
	30代	142	78.9	12.7	66.2	21.1	19.0	2.1
	40代	238	77.8	16.0	61.8	22.3	18.9	3.4
	50代	245	80.0	12.7	67.3	20.0	17.6	2.4
	60代	389	88.2	18.8	69.4	11.9	11.1	0.8
	70代以上	854	91.8	28.8	63.0	8.2	8.1	0.1
居住年数	1年未満	14	92.9	28.6	64.3	7.1	7.1	0.0
	1年～5年未満	95	82.1	23.2	58.9	17.9	16.8	1.1
	5年～10年未満	87	79.3	12.6	66.7	20.6	17.2	3.4
	10年～15年未満	88	86.4	23.9	62.5	13.6	13.6	0.0
	15年以上	1,698	86.7	21.6	65.1	13.2	12.0	1.2
子どもの有無	就学前の子どもがいる	151	79.5	14.6	64.9	20.6	16.6	4.0
	小学生・中学生の子どもがいる	236	79.2	12.3	66.9	20.8	19.1	1.7
	高校生の子どもがいる	127	79.5	11.0	68.5	20.5	18.9	1.6
	高校生以下の子どもはいない	729	86.6	19.9	66.7	13.4	12.3	1.1
道の駅の利用の有無	利用したことがある	1,713	86.9	22.1	64.8	13.1	12.0	1.1
	利用したことがない	266	81.9	18.0	63.9	18.1	15.8	2.3

(3) 健康づくりの障壁となるもの

【問 16】 現在以上に健康づくり(※)に取り組もうとした場合、障壁になると感じるものがありますか。(複数回答、2つまで選択可)

(※)「健康づくり」：食生活や運動、休養、社会参加など、あなたが健康によいと考
えてとる行動全般と捉えてお答えください。

① 今回の調査結果

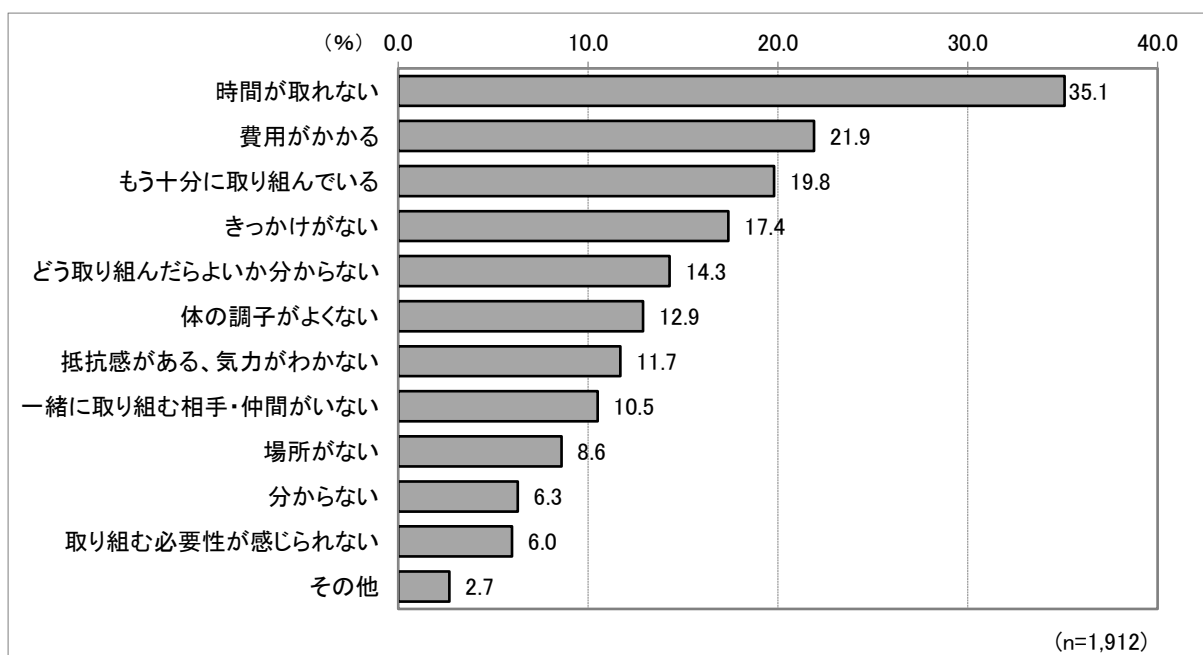
健康づくりの障壁となるものについてたずねたところ、「時間が取れない」が 35.1%と最も多く、次いで「費用がかかる (21.9%)」「もう十分に取り組んでいる (19.8%)」「きっかけがない (17.4%)」「どう取り組んだらよいか分からない (14.3%)」となった。

性別では、「もう十分に取り組んでいる」が男性 (23.5%) と女性 (16.5%) とで差異が見られる。

年代別では、10代では「抵抗感がある、気力がわかない (23.1%)」が2番目に多い。70代以上では「もう十分に取り組んでいる (29.6%)」が最も多い。

居住年数別および子どもの有無別では目立った特徴は見られない。

【健康づくりの障壁となるもの (単純集計)】



【健康づくりの障壁となるもの（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容	
活動場所へのアクセスの問題【7件】	
	活動したい場所が遠い
	足がない(交通手段)
	出かけられない
	交通手段がない
	交通手段が自転車のみ、バスは不便、開催所まで遠いのでなかなか行けない
	交通の便が悪い
	一人で行く事が出来ない。ヒザが悪い為、人に頼る事になる。
自分なりに既に取り組んでいる等【7件】	
	出来る範囲で取り組んでいる
	色々病気をして普通の運動は皆と一緒に出来ず(体が変形)歩くことは努めています。
	一人でやっている(スクワット)
	散歩だけ
	自分なりにもう十分取り組んでいる
	少しづつやっている
	物を運ぶ、階段をつかう
時間がない等【4件】	
	忙しい
	腰が痛く仕事がキツイ。重労働、長時間やらないと終わらない。
	時間が合わない
	仕事が忙しい
運動するための環境が整っていない等【4件】	
	外灯が少なく、歩道が狭く、凸凹で歩きにくい。
	車道が多い。お散歩しやすい道があると良い。
	本格的なジムがない
	運動公園の各教室の料金が高い
年齢の問題(高齢だから等)【3件】	
	年齢的に無理です
	高齢の為
	高齢
その他	
	認知症で施設利用
	他人とかかわりたくない、人間関係がつかれる
	農薬の空中散布
	社会不安
	食に関する知識が乏しい(大人)
	植物が大好きなので満足
	公衆トイレが少ない
	年齢的にこのままでよい
	ほぼ1以外全部当てはまるくらい
	姿勢改善に取り組んでいたが先生が他市町村へ行ってしまった。
	相談できる医療機関がない
	通院中です
	金銭・選挙等の時だけの人
	疲労
	自分の意識

【健康づくりの障壁となるもの（属性別①）】

(単位:%)

		回答数	もう十分に 取り組んでいる	時間が 取れない	場所が ない	体の調子 がよくない	費用が かかる	一緒に取 り組む相 手・仲間 がいない
全体		1,912	19.8	35.1	8.6	12.9	21.9	10.5
性別	男性	896	23.5	34.2	9.4	11.7	22.1	10.2
	女性	1,002	16.5	35.9	7.7	14.2	21.6	10.9
	答えたくない	10	10.0	40.0	30.0	0.0	30.0	10.0
年代	10代	39	15.4	35.9	7.7	2.6	10.3	7.7
	20代	77	7.8	46.8	10.4	7.8	23.4	13.0
	30代	142	9.2	61.3	16.2	4.9	30.3	9.2
	40代	236	12.3	55.5	13.1	6.4	32.6	12.7
	50代	242	10.3	51.2	11.6	4.5	31.8	5.0
	60代	383	17.2	35.2	9.1	8.6	25.6	11.5
	70代以上	785	29.6	18.2	4.3	21.8	12.4	11.3
居住年数	1年未満	14	14.3	57.1	14.3	14.3	42.9	0.0
	1年～5年未満	95	13.7	46.3	18.9	5.3	29.5	10.5
	5年～10年未満	86	11.6	54.7	9.3	9.3	22.1	12.8
	10年～15年未満	85	18.8	47.1	9.4	9.4	29.4	5.9
	15年以上	1,623	20.7	32.7	7.8	13.7	20.7	10.7
子どもの有無	就学前の 子どもがいる	150	8.0	66.7	15.3	8.7	30.7	8.7
	小学生・中学生 の子どもがいる	231	12.1	57.6	10.8	8.2	31.6	8.2
	高校生の 子どもがいる	124	12.1	51.6	9.7	10.5	30.6	4.8
	高校生以下の 子どもはいない	710	19.2	33.0	8.3	13.7	20.6	10.7

【健康づくりの障壁となるもの（属性別②）】

(単位:%)

		回答数	どう取り組んだらよいか分からない	きっかけがない	抵抗感がある、気がわからない	取り組む必要性が感じられない	分からない	その他
全体		1,912	14.3	17.4	11.7	6.0	6.3	2.7
性別	男性	896	14.1	17.4	10.4	7.0	7.0	1.7
	女性	1,002	14.5	17.4	12.8	5.1	5.6	3.6
	答えたくない	10	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0
年代	10代	39	15.4	15.4	23.1	5.1	15.4	0.0
	20代	77	26.0	24.7	10.4	7.8	2.6	2.6
	30代	142	12.7	16.9	7.7	1.4	2.1	1.4
	40代	236	13.1	14.4	9.3	2.5	3.0	2.1
	50代	242	15.3	20.2	7.9	3.7	5.4	1.7
	60代	383	15.1	21.4	12.5	6.3	5.5	2.9
	70代以上	785	13.1	15.0	13.4	8.4	8.7	3.6
居住年数	1年未満	14	7.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	1年～5年未満	95	17.9	14.7	5.3	5.3	3.2	2.1
	5年～10年未満	86	10.5	12.8	9.3	5.8	5.8	0.0
	10年～15年未満	85	9.4	15.3	10.6	4.7	4.7	3.5
	15年以上	1,623	14.5	17.8	12.4	6.2	6.7	2.9
子どもの有無	就学前の子どもがいる	150	10.0	13.3	6.0	4.7	4.0	2.0
	小学生・中学生の子どもがいる	231	12.6	15.2	6.5	3.5	4.3	1.7
	高校生の子どもがいる	124	16.1	21.0	8.1	3.2	5.6	0.8
	高校生以下の子どもはいない	710	14.6	19.3	12.0	7.2	6.8	2.4

(4) 道の駅の利用経験

【問 17】あなたは「道の駅むつざわ つどいの郷」を利用したことがありますか。(単数回答)

道の駅の利用経験についてたずねたところ、「利用したことがある」が 86.5%と大勢を占めており、「利用したことがない」は 13.5%となった。

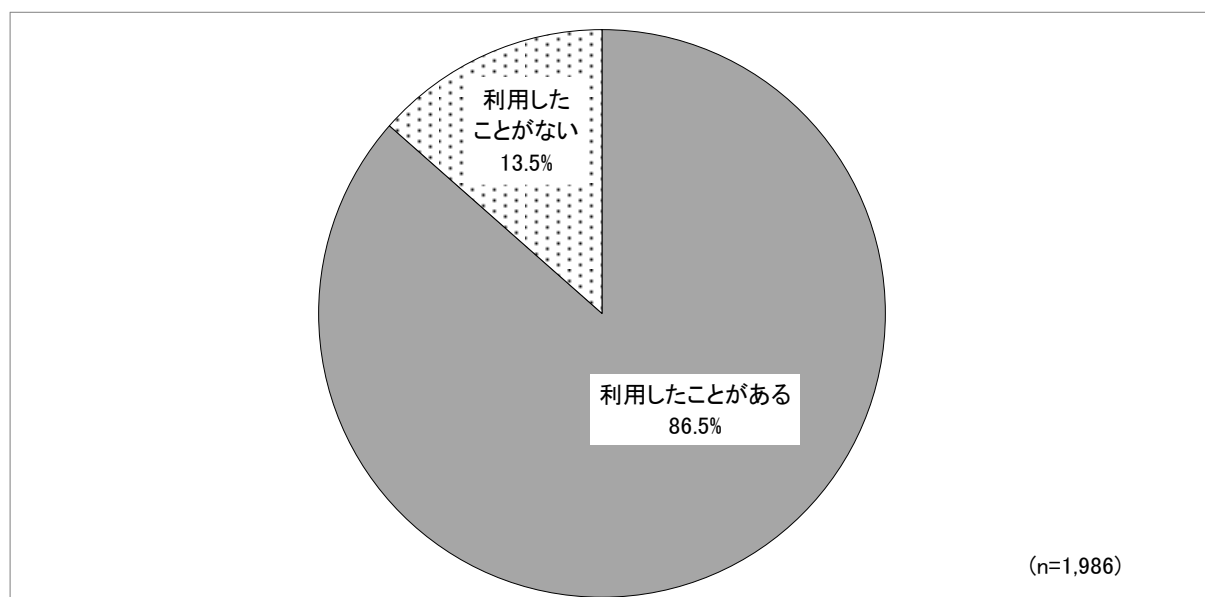
性別では、「利用したことがある」は、女性 (90.2%) が男性 (82.4%) を上回っている。

年代別では、「利用したことがある」は 40 代 (88.7%) が最も多い。一方で、10 代 (79.5%) は 8 割を下回った。

居住年数別では、「利用したことがある」は、「1 年～5 年未満」が 94.8%、「1 年未満」が 92.9%、「5 年～10 年未満」が 90.8%、「10 年～15 年未満」が 90.0%と、居住年数 15 年未満では利用度が 9 割を上回ったが、「15 年以上」は 85.5%となった。

子どもの有無別では、「就学前の子どもがいる」が 95.4%、「小学生・中学生の子どもがいる」が 94.0%と中学生以下の子どもがいる住民の利用度は 9 割を上回ったが、「高校生の子どもがいる」は 84.9%、「高校生以下の子どもはいない」は 85.2%となった。

【道の駅の利用経験 (単純集計)】



【道の駅の利用経験（属性別）】

（単位：％）

		回答数	利用したことがある	利用したことがない
全体		1,986	86.5	13.5
性別	男性	928	82.4	17.6
	女性	1,041	90.2	9.8
	答えたくない	11	72.7	27.3
年代	10代	39	79.5	20.5
	20代	78	82.1	17.9
	30代	142	88.0	12.0
	40代	238	88.7	11.3
	50代	244	86.9	13.1
	60代	390	87.7	12.3
	70代以上	847	85.8	14.2
居住年数	1年未満	14	92.9	7.1
	1年～5年未満	96	94.8	5.2
	5年～10年未満	87	90.8	9.2
	10年～15年未満	90	90.0	10.0
	15年以上	1,688	85.5	14.5
子どもの有無	就学前の子どもがいる	151	95.4	4.6
	小学生・中学生の子どもがいる	234	94.0	6.0
	高校生の子どもがいる	126	84.9	15.1
	高校生以下の子どもはいない	730	85.2	14.8

(5) 道の駅を利用しない理由

【問 18】「道の駅むつざわ つどいの郷」を利用したことがない理由は何ですか。

(複数回答、2つまで選択可)

※問 17 で「2. 利用したことがない」と回答した方が対象

「道の駅むつざわ つどいの郷」を利用したことがない理由についてたずねたところ、「施設に魅力を感じない」が 47.5%と最も多く、次いで「どういった施設・設備があるかわからない(26.4%)」「行く時間がない (20.4%)」「プログラムに魅力を感じない (18.1%)」となった。

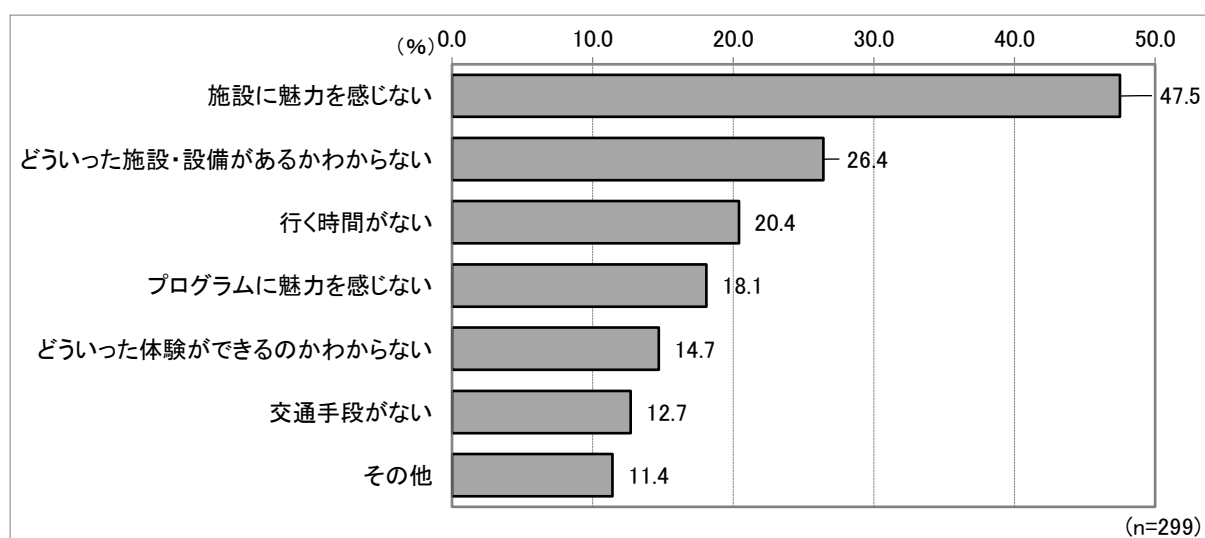
性別では目立った特徴は見られない。

年代別では、「行く時間がない」が 10代 (37.5%)、20代 (28.6%)、30代 (31.6%) で 2 番目に多かった。

居住年数別では、「5年～10年未満」では「どういった体験ができるのかわからない」が 22.2%と、「その他」を除いては最も多い。

子どもの有無別では、「就学前の子どもがいる」では「交通手段がない」が 27.3%と 2 番目に多い。また、「高校生の子がいる」では「行く時間がない」が 43.5%と 2 番目に多い。

【道の駅を利用しない理由 (単純集計)】



【道の駅を利用しない理由（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容	
興味湧かない等【10件】	
	町民の為にあまりなっていないと感じる
	必要性を感じない
	特に行ってみたいと思わない
	温泉しかない
	興味がない
	特に行きたいと思わない
	行きたい気持ちがわからない
	行く意味がない
	特に理由はない
	家族が行くので必要ない
道の駅で売っている商品等に対する不満【9件】	
	スーパーで買い物するから
	レストランの料理がおいしくない、フードコートやフリースペースがよい
	道の駅に多物のカリカリ梅が置いてない、一方よそで買えるヌレセンやイスマミ鉄道の売物が置いてある
	種類が少ない、色々な地域の農産物を入れてほしい
	農産物の数が少ない
	※つどいの里も他の道の駅のように野菜などもっと多く取り揃えて欲しい。いつ行っても平台の商品はスカスカですし、買いたいものがない。他の道の駅はボリュームがあって朝から混雑してますよ！
	商品が高い
	睦沢でとれたものが少ない
	価格が高い
自身の健康上の理由【4件】	
	体の調子がわるい、病気にかかっているから行けない
	体の調子がよくない
	足が悪い
	身体が不自由
道の駅に対して良いイメージがない等【2件】	
	管理が悪い。ゴミは無いが雑草や水たまりが多く景観が悪い。
	他の町の道の駅から見てイメージが悪いし、以前の様にフラッと入れる雰囲気がない。
道の駅まで遠い【2件】	
	遠い
	遠い
道の駅が混んでいる【2件】	
	お風呂に行きたいが週末は車がいっぱい車をとめるのも大変だった
	人混みが嫌いです
その他	
	地元との共生がない
	温泉利用について町民ならもう少し値段を下げても良いのでは？と思う。
	介護生活でいっぱい
	施設に行く事、人任せにして居りますので
	行ってみたいが行けていない。

【道の駅を利用しない理由（属性別）】

(単位：%)

		回答数	交通手段がない	行く時間がない	施設に魅力を感じない	プログラムに魅力を感じない	どういった施設・設備があるかわからない	どういった体験ができるのかわからない	その他
全体		299	12.7	20.4	47.5	18.1	26.4	14.7	11.4
性別	男性	175	6.3	18.3	54.3	18.3	26.3	16.6	8.6
	女性	121	22.3	23.1	38.0	18.2	27.3	12.4	14.9
	答えたくない	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
年代	10代	8	0.0	37.5	62.5	12.5	25.0	12.5	0.0
	20代	14	7.1	28.6	78.6	14.3	14.3	7.1	14.3
	30代	19	5.3	31.6	42.1	21.1	21.1	10.5	21.1
	40代	29	10.3	20.7	37.9	27.6	27.6	17.2	13.8
	50代	35	2.9	20.0	60.0	22.9	22.9	20.0	5.7
	60代	52	3.8	23.1	40.4	9.6	32.7	23.1	11.5
	70代以上	139	20.1	15.8	46.8	18.0	26.6	11.5	11.5
居住年数	1年未満	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	1年～5年未満	5	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	40.0
	5年～10年未満	9	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	22.2	66.7
	10年～15年未満	13	15.4	15.4	53.8	15.4	0.0	7.7	7.7
	15年以上	267	12.4	21.3	49.1	19.5	28.1	15.0	9.0
子どもの有無	就学前の子どもがいる	11	27.3	18.2	45.5	18.2	18.2	9.1	18.2
	小学生・中学生の子どもがいる	17	5.9	29.4	52.9	5.9	29.4	11.8	11.8
	高校生の子どもがいる	23	4.3	43.5	52.2	13.0	13.0	8.7	4.3
	高校生以下の子どもはいない	114	12.3	21.1	50.0	21.1	25.4	14.9	9.6

5. 人生における学びの環境について

(1) 生涯を通じて学び続ける意欲

【問 19】あなたは生涯を通じて学び続けたいと思いますか。(単数回答)

① 今回の調査結果

生涯を通じて学び続けたいかたずねたところ、「はい」が 57.9%となり、「いいえ」が 12.0%となった。

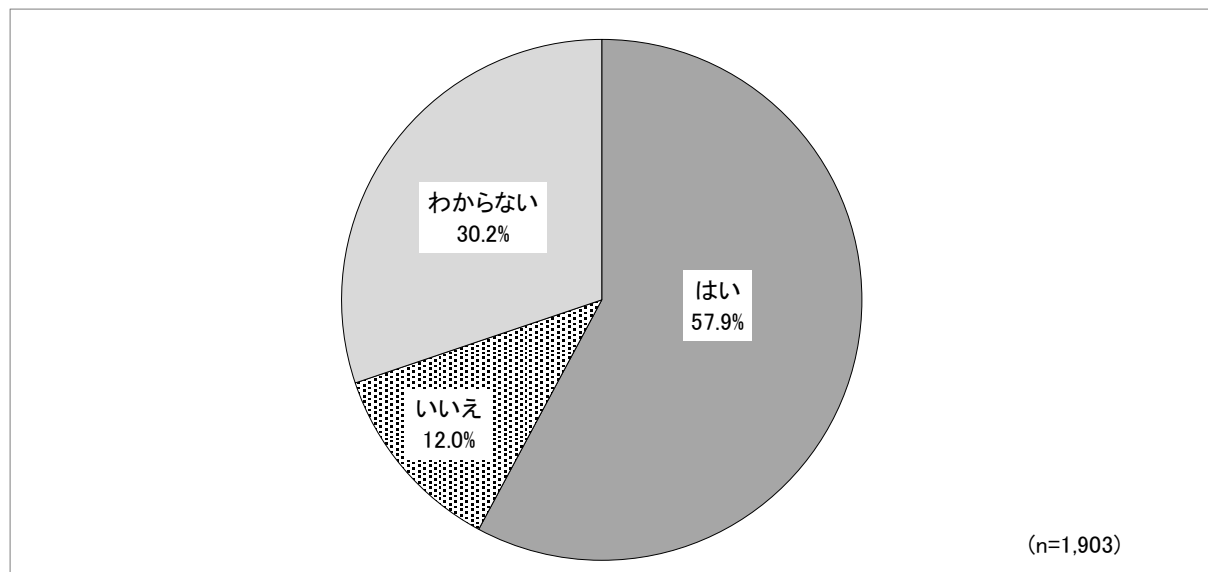
性別では目立った特徴は見られない。

年代別では、「はい」は 30代 (64.3%) が最も多い。一方で 70代以上 (53.4%)、10代 (53.8%)、50代 (55.2%) では全体平均を下回った。

居住年数別では、「はい」は「1年未満 (78.6%)」が最も多い。一方で、「5年～10年未満 (52.3%)」、「15年以上 (56.9%)」では全体平均を下回った。

子どもの有無別では、「はい」は「小学生・中学生の子どもがいる」が 68.0%、「就学前の子どもがいる」が 64.6%と 6割を上回ったが、「高校生以下の子どもはいない」が 55.9%、「高校生の子どものいる」が 59.3%と 6割を下回った。

【生涯を通じて学び続ける意欲 (単純集計)】



【生涯を通じて学び続ける意欲（属性別）】

（単位：％）

		回答数	はい	いいえ	わからない
全体		1,903	57.9	12.0	30.2
性別	男性	889	58.0	13.7	28.2
	女性	999	57.9	10.5	31.6
	答えたくない	10	60.0	0.0	40.0
年代	10代	39	53.8	5.1	41.0
	20代	78	60.3	5.1	34.6
	30代	140	64.3	9.3	26.4
	40代	237	62.4	7.6	30.0
	50代	239	55.2	10.0	34.7
	60代	376	63.8	12.0	24.2
	70代以上	786	53.4	15.3	31.3
居住年数	1年未満	14	78.6	7.1	14.3
	1年～5年未満	94	67.0	11.7	21.3
	5年～10年未満	86	52.3	9.3	38.4
	10年～15年未満	87	64.4	8.0	27.6
	15年以上	1,613	56.9	12.4	30.7
子どもの有無	就学前の子どもがいる	147	64.6	7.5	27.9
	小学生・中学生の子どもがいる	228	68.0	6.6	25.4
	高校生の子どもがいる	123	59.3	9.8	30.9
	高校生以下の子どもはいない	708	55.9	13.3	30.8

(2) 生涯を通じて学べる環境を充実させるための取組

【問 20】生涯を通じて学べる環境を充実させるために、どのような取り組みが重要だと思いますか。(複数回答、2 つまで選択可)

生涯を通じて学べる環境を充実させるために重要だと思う取組についてたずねたところ、「生涯学習講座等の開催や受講方法に関する情報提供」が 50.9%と最も多く、次いで「施設利用にかかる手続きの簡略化 (27.1%)」「生涯学習を支援する地域人材やボランティアの育成 (24.5%)」となっている。また、「生涯学習講座・学習会の充実」の具体的な内容を自由記述方式でたずねたところ、「学習しやすい環境づくり」に関する意見が 10 件、「自主的に学べる環境づくり」に関する意見が 9 件などとなった。

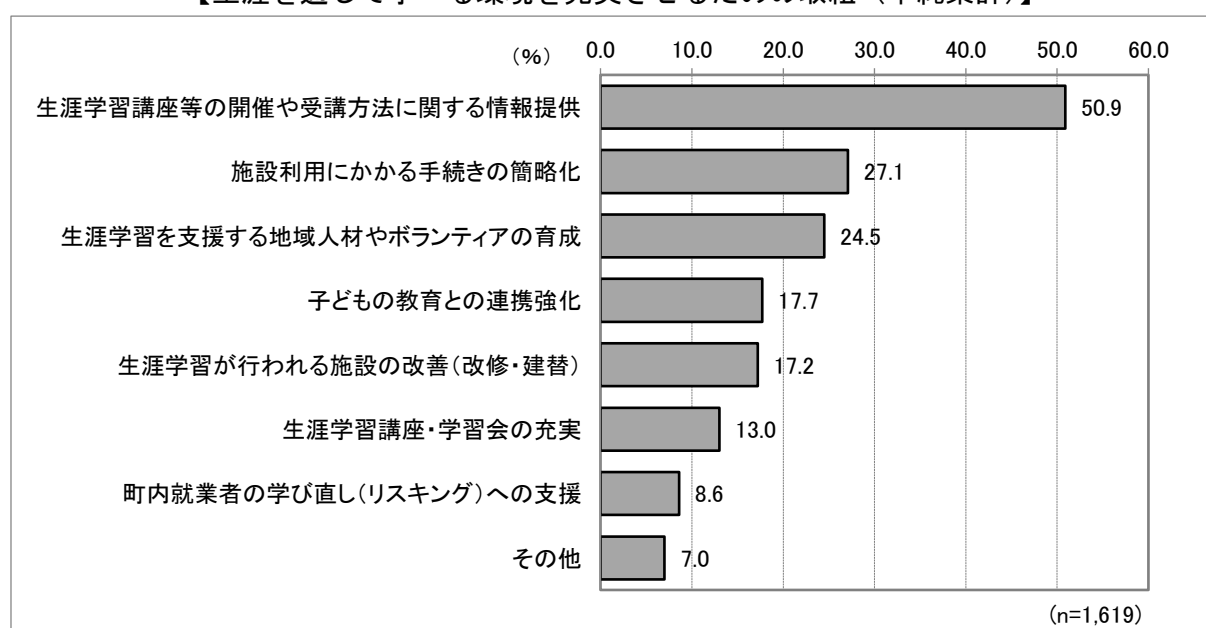
性別では目立った特徴は見られない。

年代別にみると、「子どもの教育との連携強化」が 10 代 (34.2%) では「生涯学習講座等の開催や受講方法に関する情報提供」と並んで最も多く、30 代 (35.8%) および 40 代 (28.2%) では 2 番目に多い。また、70 代以上では「生涯学習を支援する地域人材やボランティアの育成 (30.8%)」が 2 番目に多い。

居住年数別では、「1 年未満」では「生涯学習講座・学習会の充実 (33.3%)」が 3 番目に多い。また、「子どもの教育との連携強化」が「1 年～5 年未満 (33.0%)」および「5 年～10 年未満 (36.4%)」で 2 番目に多い。

子どもの有無別では、「子どもの教育との連携強化」が「就学前の子どもがいる (43.8%)」では「生涯学習講座等の開催や受講方法に関する情報提供」と並んで最も多く、「小学生・中学生の子どもがいる (40.1%)」では 2 番目に多い。また、「高校生の子どもがいる」では「生涯学習を支援する地域人材やボランティアの育成 (27.4%)」が 2 番目に多い。

【生涯を通じて学べる環境を充実させるための取組 (単純集計)】



【「生涯学習講座・学習会の充実」の具体的な内容①】

「1.生涯学習講座・学習会の充実」の具体的な内容 ※「なし」や「必要ない」等は省略	
学習しやすい環境づくり【10件】	
誰でも自由に開講できる仕組みをつくる。能動的かつ非権威的な学びの実現	
webを使い自分のペースで学習できるような方向が良いと思う。	
公的なインターネット環境の充実	
働きながらでも参加できる時間帯がほしい。実現したら情報提供してほしい。	
高齢者に対して必要な項目をジャンル別に学習させてください	
オンラインで学べる環境(システム)づくり	
自由に使える学習スペースがあるとよい	
各種学習施設の集中とアクセス手段の利便性向上	
講座・教室の回数を今以上に減らさない	
種類の豊富さ	
自主的に学べる環境づくり等【9件】	
本人の気力が問題	
自由であること	
本人しだい	
自分のやりたい事は自分でやる	
自分で出来る事をやる	
好きな時間に好きな時で勉強できた方がいい	
自学自習の方が私には向いている。	
今学んでいる事で十分です	
自分の技術、スキル	
農業・自然関連【9件】	
農業について、米づくり、野菜づくり	
土に親しむ講座	
地域の活動に近いもの 農業、ガーデニング、フラワーアレンジメントなど	
人と動物、自然	
農業系	
農業	
自然環境や陸沢の環境保全のための学習	
農業塾のようなもの	
子供からお年寄りまで学べる書道教室や農業学習	
日常生活に役立つ講座【9件】	
工具の使い方 様々な機械の使い方 大工道具	
介護美容に関する環境	
住宅の簡単なリフォーム講座、着物のリフォーム	
独居人の生活方法の向上	
手縫い、リフォーム、スマホの使い方、一人暮らしの調理知恵	
老後の暮らし	
趣味の講座の開設	
半径3km以内で面白く暮らすための様々なきっかけとなる学習	
ガーデニング講座、男の料理教室など	

「1.生涯学習講座・学習会の充実」の具体的な内容 ※「なし」や「必要ない」等は省略	
デジタルスキル等に関する講座【8件】	
ネット環境	
デジタル機器・技術	
ネット	
IT(プログラミング・PC使い方)に関する学習講座	
スマホの上手な使い方	
ネット	
ネット研修	
今後の生活に必ず必要となるパソコンやスマートホンの活用講座、簿記や英会話教室、手話や介護サポート講座など	
文学・語学・歴史等【6件】	
文学 経済学、心理学、英会話	
英会話	
英会話	
俳句	
英会話	
自然科学や歴史等	
有名講師による講演会【5件】	
有名人、経験豊かな方の講演会	
できれば低価格でプロの講師の講座を受けられる。	
有料でよい、土、日	
有名な講師を呼ぶ(例えば政治・経済に精通している人)	
有名な先生の講習	
専門知識のある人の講演・公開講座など	
資産運用に関する講座【5件】	
健康、投資、携帯電話の使い方など幅広い分野で年10回程度	
資産運用	
投資・金融	
資産形成、運用等	
趣味に関すること、投資	
リスクリテラシー・資格取得等【4件】	
大人の学び直し講座などの実施。受けた講義のアンケートなど。	
リスクリテラシーした内容に対する評価・認定制度の整備	
資格取得の口座の開設(オンライン受講)と費用負担(FP、医療事務)	
介護資格取得	
健康に関する講座【3件】	
脳トレ教室など	
脳の健康教室の様な物	
健康づくりを学ぶ。他の町と連携しても良さそう。	
交流の場づくり【3件】	
町の人と交流し合える機会に含んだ講座	
気軽に交流できる場	
気軽に参加できる楽しい学びの場(イベント)	
図書館の充実【3件】	
図書の充実	
図書室をもっと充実させる	
町の図書館は最新の金融関連の本が少ない。日経新聞さえ無し。政府は新しい資本主義とか言ってる。	

【「生涯学習講座・学習会の充実」の具体的な内容②】

「1.生涯学習講座・学習会の充実」の具体的な内容 ※「なし」や「必要ない」等は省略	
その他	
	生涯学習がどのようなものかわからない
	多様化(学びたい内容の講座を見たことがない)
	カラオケをしていきたいが設備が悪すぎる
	優秀な指導者の育成
	生涯学習の必要性を子供から大人まで広い意識作り 官民一体の社会作り
	地域性を活かしたもの身近なもの
	ブッククラブ(読書会)の定期的な開催
	興味をそそられるような講座の種類充実
	本当に必要な施設
	福祉の勉強について
	今すぐ取り組むべき地球環境問題。家庭ですぐ取り 組めることについて。
	マイナンバーカードの簡素化
	ボイストレーニング・朗読等口腔機能使用したもの
	①様々なライフステージの悩みに沿った講座ex.子育て、 終活、介護、更年期、アンカーマネージメント、禪 的思考 ②趣味・教養

【生涯を通じて学べる環境を充実させるための取組（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容 ※「なし」や「わからない」等は省略	
図書館の充実等【9件】	
	図書館の蔵書をより多く、ジャンルを幅広くする。
	読書など
	千葉市図書館と同等かそれ以上の図書館の建設
	本を読んで行動に移す
	図書室の自習室の充実
	図書館の充実度UP
	書籍の取り寄せ貸出しの充実
	図書室(公民館)に専門書が欲しい
	図書館
生涯学習施設までの移動手段【9件】	
	交通移動の手段
	施設までの送迎
	交通手段の充実
	交通手段の改善
	参加場所に行くまでの交通手段(バスの増便など)
	交通の手段がないので送迎が必要
	会場までの交通
	交通手段
	交通の便の改善
生涯学習施設の利便性向上【5件】	
	学習講座の日程がいつも日曜日とかなのでいつでも好きな時間で出来る様にして欲しい
	施設利用時間の拡充
	無料で講座を受けれる。
	無料でやれるように
	地域での開催
オンラインでの学習機会【4件】	
	インターネットを使用した学習会
	インターネット、スマホ等の利用、低価格化。
	オンライン
	オンライン学習(機器の提供と利用方法のレクチャーも含む)の拡充
他地域との連携【2件】	
	充実している地域との連携、情報共有
	ひとつの町ではできる事に限界があると思うので、県や周辺市町村と協力して学べる環境を整えていくことは重要だと思う
その他	
	気軽に誰でも交流できる場
	外国語講座
	いいえを選択した場合はどれも当てはまらないのですか？
	気力
	ネットで自分でやるからそれで十分である。
	学び所か自分の時間(前の質問に趣味の時間とありました)が全くない。あずけられ少しいから眠る、休む時間が欲しい。
	農業は一生勉強
	高齢者、学ぶ課題が見つからない
	机上の時間より実体験の多さが欲しい
	年が過ぎている
	施設利用をして居ります
	自分でやる
	近現代日本の歴史
	自分で学びます

【生涯を通じて学べる環境を充実させるための取組（属性別）】

（単位：％）

		回答数	生涯学習講座・学習会の充実	生涯学習講座等の開催や受講方法に関する情報提供	生涯学習が行われる施設の改善（改修・建替）	施設利用にかかる手続きの簡略化	生涯学習を支える地域人材やボランティアの育成	町内就業者の学び直し（リスキング）への支援	子どもの教育との連携強化	その他
全体		1,619	13.0	50.9	17.2	27.1	24.5	8.6	17.7	7.0
性別	男性	766	13.4	48.4	20.6	28.3	23.6	11.0	16.4	7.6
	女性	842	12.5	53.3	14.0	25.9	25.2	6.4	18.9	6.4
	答えたくない	9	33.3	44.4	22.2	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1
年代	10代	38	10.5	34.2	21.1	31.6	21.1	7.9	34.2	2.6
	20代	74	6.8	32.4	28.4	35.1	24.3	13.5	23.0	8.1
	30代	137	12.4	44.5	24.1	24.1	8.0	16.1	35.8	5.1
	40代	227	13.2	48.9	19.4	26.9	18.5	7.9	28.2	8.4
	50代	220	11.8	53.2	18.2	28.2	22.7	6.8	14.1	7.3
	60代	349	13.8	56.4	13.5	27.5	25.8	9.7	12.0	6.3
	70代以上	568	14.1	52.8	14.8	25.9	30.8	6.3	12.3	7.2
居住年数	1年未満	12	33.3	66.7	0.0	41.7	8.3	0.0	8.3	8.3
	1年～5年未満	88	18.2	44.3	22.7	19.3	13.6	10.2	33.0	9.1
	5年～10年未満	77	11.7	40.3	15.6	24.7	11.7	10.4	36.4	6.5
	10年～15年未満	75	12.0	42.7	10.7	28.0	28.0	8.0	24.0	8.0
	15年以上	1,356	12.8	52.4	17.3	27.5	25.7	8.4	15.5	6.8
子どもの有無	就学前の子どもがいる	144	13.9	43.8	21.5	18.1	11.1	9.0	43.8	5.6
	小学生・中学生の子どもがいる	212	11.3	42.5	19.8	22.2	17.5	11.3	40.1	7.1
	高校生の子どもがいる	113	11.5	44.2	23.0	23.0	27.4	4.4	26.5	9.7
	高校生以下の子どもはいない	624	12.7	51.3	15.2	32.1	26.3	8.7	13.6	7.9

(3) 子どもたちの学ぶ環境を充実させるための取組

【問 21】睦沢町で成長していく子どもたちが学ぶ環境をさらに充実させるために、どのような取り組みが重要だと思いますか。(複数回答、2つまで選択可)

① 今回の調査結果

睦沢町で成長していく子どもたちが学ぶ環境をさらに充実させるために重要だと思う取組についてたずねたところ、「様々な人と交流しながら学ぶ機会の充実」が54.4%と最も多く、次いで「地域の自然等と触れ合いながら学ぶ機会の充実(36.2%)」「学校で学んだ内容をより深く理解するための復習の機会の充実(30.5%)」となった。

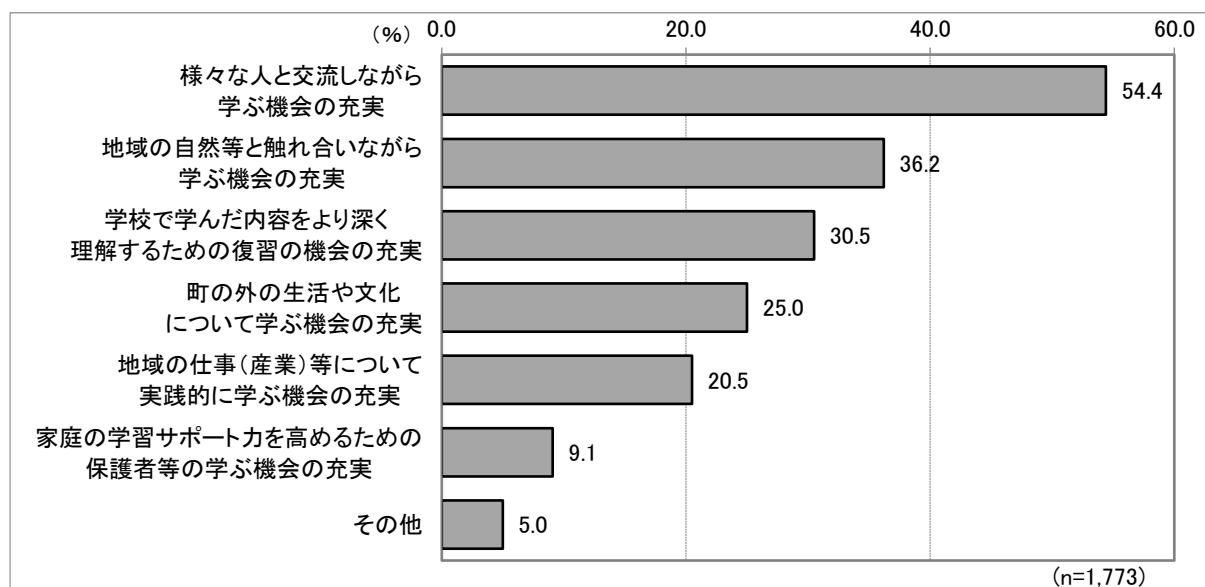
性別では、目立った特徴は見られない。

年代別では、「学校で学んだ内容をより深く理解するための復習の機会の充実」が30代(40.0%)および40代(35.2%)で2番目に多い。

居住年数別では、「1年未満」では「地域の自然等と触れ合いながら学ぶ機会の充実(61.5%)」が最も多い。「5年～10年未満」では「町の外の生活や文化について学ぶ機会の充実(35.0%)」が2番目に多い。「10年～15年未満」では「学校で学んだ内容をより深く理解するための復習の機会の充実(40.8%)」が2番目に多い。

子どもの有無別では、「学校で学んだ内容をより深く理解するための復習の機会の充実」が「小学生・中学生の子どもがいる(42.8%)」「就学前の子どもがいる(42.4%)」「高校生の子どものいる(34.2%)」で2番目に多い。

【子どもたちの学ぶ環境を充実させるための取組(単純集計)】



【子どもたちの学ぶ環境を充実させるための取組（その他の回答内容）】

<p>「その他」の回答内容 ※「わからない」や「なし」等は除外 好きなことを自主的に学んでいくこと・そのための場の確保【12件】</p>	<p>「その他」の回答内容 ※「わからない」や「なし」等は除外 読書の推進【3件】</p>
<p>創造性を育む 学校の成績表だけでなく個人の得意分野で活躍する場や評価により自己背徳感を高められる場の充実。 子供自身の得意な分野・興味のある分野の学習を深められる機会の充実 好きなことを学びたい 子供が自由に勉強する場所の確保 受動的な学習より、自発的に学習できる環境が望ましいと感じる。又、学力の二極化が激しい今、学力に分けてクラスを編成し、授業スピードに差をつけ、課題の量や質を変える努力をして欲しい。その割に学校では点数を上げろ！と言われるようです。 各々自分で学べば良いと思います フリースペースの確保 勉強できる場所の確保 学校での学習以外の〈学び〉について、評価する仕組み。(多様性を評価する仕組み) 子ども達が放課後自ら学べる場所、施設の充実 塾だの学費だのに金と時間をかける風潮がダメだと思う。学校帰りに友達と遊んだり、公民館で勉強したりで十分な環境があれば良いと思う。</p>	<p>読書好きな子を増やす。将棋、囲碁など普及させスマホの使用時間をへらす 書籍へのアクセス制の向上 図書室の充実</p>
<p>学校施設の改善【5件】</p>	<p>教員の質の向上【3件】 学校の教師自身の学ぶ姿勢を見せること 教員の質の向上、教員の官僚的な思考の改善 まともな先生</p>
<p>小中校舎の建て替え 小・中学校 校舎の建替え→古い建物で学んで得る物はない為 施設の充実、定期点検 学校施設と指導者の充実、柔軟な対応 施設の改築</p>	<p>交流の場【2件】 気軽に交流できる場(誰でも、いつでも) 気軽に誰でも交流できる場(こども食堂のような)</p>
<p>子どもたちの移手段の改善【5件】</p>	<p>道徳教育【2件】 道徳教育 ゴミゼロ運動など道徳的な活動</p>
<p>文化的施設(映画館,書店,美術館,博物館,プラネタリウムetc)へ自力でアクセスできる交通手段の整備 徒歩で登下校している子の時間短縮 学びに行く交通手段やサポートする人の充実 交通手段の改善 交通の便の改善</p>	<p>その他</p>
<p>塾に代わる教育・塾にかかる費用の補助【4件】</p>	<p>英語を全員が話せるようにする フリースクール 生徒増への取組み 大学の情報、大学生との交流を小・中学生に知らせる機会の充実 町の中だけであたり前に学校(園、小中校)でなく他の市町に行ける環境、自由に選べる 人的学習</p>
<p>民間の塾を利用する学生、生徒、児童に対して補助金を交付させること 塾(習い事)の無料or助成金 塾にかわる放課後学習の場(自由に利用できる) 塾の代わりになるようなことを放課後に学校で行ってほしい。指導者は先生ではなく外部の人で、費用がかかってもいいので。</p>	<p>税金のしきみや投資などの将来役に立つ事を学ぶ 家庭生活が一番大切。夫婦の調和etc。 人生哲学と愛国心、政治について学ぶ 各分野の著名な方々の定期的なスクーリング 学力の高い子供と低い子供で分け、それぞれに合わせた学校教育の実施 食品の安全を生かし、そうしないと頭が前に進まない。遺伝子組み換え商品 費用がかからない事 成功体験の場、アチキッズ、リーダーキッズ(アチーブメント(株)人材教育コンサルタントの企画) 現実を見て取り組む必要がある 本屋 有名な先生の講習 異国(場所・人)への対応 学んだ事をフィードバックするための環境 学校内(日々の学習中)での一人ひとりの子どもに対する支援者の充実 中学生になったら工場見学、大農場等行動している社会を学ぶ事が良い。ここから向上心も生まれる。 こども全員のレベルアップ教育</p>
<p>オンライン教育・教育のICT化【4件】</p>	<p>5、お年寄</p>
<p>オンライン学習の充実。授業準備などの先生の負担を減らし子供の支援に時間を増やせるようにする。 オンライン学習(機器の提供と利用方法のレクチャーも含む)の拡充 GIGAスクールを進め、ICTで世界とつながり最新最高の授業を受けれるようにする。 クロームブック無料</p>	<p>幼稚園、小学、中学の一環に教育(特に英会話)の充実 食育、無農薬、無肥料の野菜、米を環境を壊さず再生しながら作り、それを食べていくことで持続可能な生き方が出来るということ。地球環境に負担をかけずに、生きていく方法を学ぶ場と機会を。 町内の大人が生きて暮らせるようになる取り組み 海馬と小脳の成長が止まる6歳迄の幼児教育の強化 いろいろな先生に教えてもらうこと。1年ごとに変わる個々の発達、特性などに応じた柔軟な学びができるよう、人材や場を充実させてほしい</p>
<p>学校教育の充実【3件】</p>	<p>幼稚園、小学、中学の一環に教育(特に英会話)の充実</p>
<p>学校教育 学校での質の高い教師から学ぶ機会の充実 海外の教育方法も一部取り入れてみる</p>	<p>食育、無農薬、無肥料の野菜、米を環境を壊さず再生しながら作り、それを食べていくことで持続可能な生き方が出来るということ。地球環境に負担をかけずに、生きていく方法を学ぶ場と機会を。 町内の大人が生きて暮らせるようになる取り組み 海馬と小脳の成長が止まる6歳迄の幼児教育の強化 いろいろな先生に教えてもらうこと。1年ごとに変わる個々の発達、特性などに応じた柔軟な学びができるよう、人材や場を充実させてほしい</p>

【子どもたちの学ぶ環境を充実させるための取組（属性別）】

（単位：％）

		回答数	学校で学んだ内容をより深く理解するための復習の機会の充実	地域の自然等と触れ合いながら学ぶ機会の充実	地域の仕事（産業）等について実践的に学ぶ機会の充実	町の外生活や文化について学ぶ機会の充実	様々な人と交流しながら学ぶ機会の充実	家庭の学習サポート力を高めるための保護者等の学ぶ機会の充実	その他
全体		1,773	30.5	36.2	20.5	25.0	54.4	9.1	5.0
性別	男性	840	27.6	36.3	23.0	26.3	53.1	10.2	6.0
	女性	924	33.0	36.3	18.4	23.4	55.8	8.0	4.1
	答えたくない	7	42.9	28.6	0.0	71.4	14.3	0.0	14.3
年代	10代	39	41.0	41.0	17.9	17.9	46.2	10.3	7.7
	20代	77	29.9	33.8	22.1	29.9	49.4	11.7	6.5
	30代	140	40.0	35.0	23.6	28.6	42.9	10.0	5.7
	40代	230	35.2	32.2	19.1	25.2	50.0	11.7	9.1
	50代	233	32.2	33.0	20.2	22.7	54.1	4.7	7.3
	60代	367	24.3	34.9	20.4	26.7	56.9	11.2	3.0
	70代以上	681	29.1	39.8	20.6	23.6	58.0	7.9	3.5
居住年数	1年未満	13	7.7	61.5	30.8	23.1	46.2	0.0	0.0
	1年～5年未満	90	24.4	43.3	20.0	25.6	46.7	12.2	10.0
	5年～10年未満	80	33.8	28.8	11.3	35.0	51.3	7.5	8.8
	10年～15年未満	76	40.8	27.6	34.2	27.6	43.4	9.2	7.9
	15年以上	1,506	30.5	36.5	20.1	24.2	55.7	9.0	4.4
子どもの有無	就学前の子どもがいる	151	42.4	37.7	17.9	23.2	45.7	10.6	6.0
	小学生・中学生の子どもがいる	229	42.8	26.2	14.8	29.3	48.9	11.8	7.0
	高校生の子どもがいる	120	34.2	29.2	19.2	26.7	55.0	6.7	8.3
	高校生以下の子どもはいない	667	27.7	39.3	21.7	23.5	54.7	8.7	4.5

6. デジタル化への取組について

(1) インターネットの利用頻度

【問 22】あなたはインターネット（※個人的な利用、仕事上の利用等あらゆる目的での利用を含みます。）をどの程度利用していますか。（単数回答）

インターネットの利用頻度についてたずねたところ、「毎日」が60.4%となり、「週に数回(8.8%)」と「月に数回(5.0%)」を合わせた『月に数回以上は利用』の割合は74.2%となった。

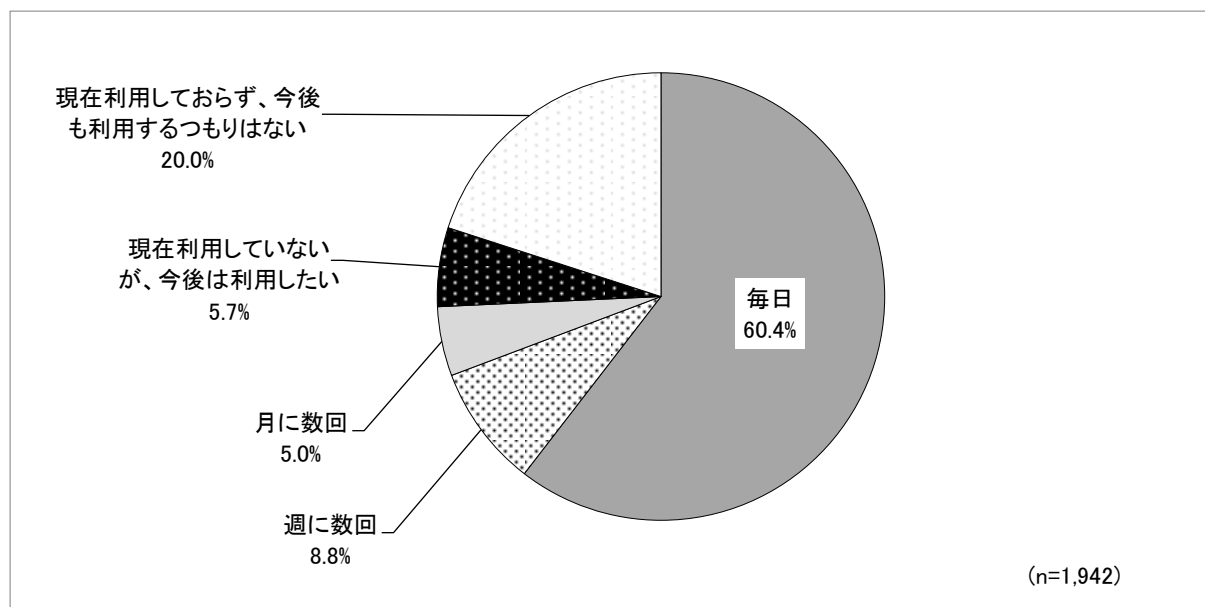
性別では、『月に数回以上は利用』は男性(78.4%)が女性(70.4%)を上回った。一方で「現在利用しておらず、今後も利用するつもりはない」は女性(24.2%)が男性(15.5%)を上回った。

年代別にみると、『月に数回以上は利用』は60代以下ではいずれも8割を超えているが、70代以上は49.2%と半数を切っている。

居住年数別では、『月に数回以上は利用』は居住年数15年未満はいずれも9割を超えているが、「15年以上」は70.9%に留まる。

子どもの有無別では、『月に数回以上は利用』は「高校生以下の子どもがいる」ではいずれも8割を超えるが、「高校生以下の子どもはいない」は75.9%となっている。

【インターネットの利用頻度（単純集計）】



【インターネットの利用頻度（属性別）】

（単位：％）

		回答数	月に数回 以上は 利用する	利用頻度			現在利用 していないが、今 後は利用 したい	現在利用 しておら ず、今後 も利用す るつもり はない
				毎日	週に数回	月に数回		
全体		1,942	74.2	60.4	8.8	5.0	5.7	20.0
性別	男性	909	78.4	63.1	10.5	4.8	6.1	15.5
	女性	1,018	70.4	57.7	7.5	5.2	5.5	24.2
	答えたくない	10	100.0	90.0	0.0	10.0	0.0	0.0
年代	10代	39	100.0	97.4	2.6	0.0	0.0	0.0
	20代	77	98.7	98.7	0.0	0.0	1.3	0.0
	30代	142	100.0	98.6	1.4	0.0	0.0	0.0
	40代	238	98.0	92.9	3.8	1.3	0.4	1.7
	50代	243	95.0	82.7	8.6	3.7	2.9	2.1
	60代	386	82.4	62.4	13.0	7.0	6.2	11.4
	70代以上	809	49.2	31.0	10.9	7.3	9.5	41.3
居住年数	1年未満	14	92.8	78.6	7.1	7.1	7.1	0.0
	1年～5年未満	94	95.8	91.5	3.2	1.1	0.0	4.3
	5年～10年未満	86	96.6	91.9	3.5	1.2	0.0	3.5
	10年～15年未満	87	90.7	79.3	3.4	8.0	4.6	4.6
	15年以上	1,650	70.9	56.0	9.7	5.2	6.4	22.7
子どもの有無	就学前の 子どもがいる	150	97.4	92.0	2.7	2.7	0.7	2.0
	小学生・中学生 の子どもがいる	232	93.0	82.3	7.3	3.4	1.7	5.2
	高校生の 子どもがいる	125	88.8	80.8	4.8	3.2	3.2	8.0
	高校生以下の 子どもはいない	721	75.9	62.4	8.6	4.9	4.6	19.6

(2) 利用している情報通信機器

【問 23】 あなた自身が利用している情報通信機器は何ですか。(複数回答)

※問 22 で「1. 毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」と回答した方が対象

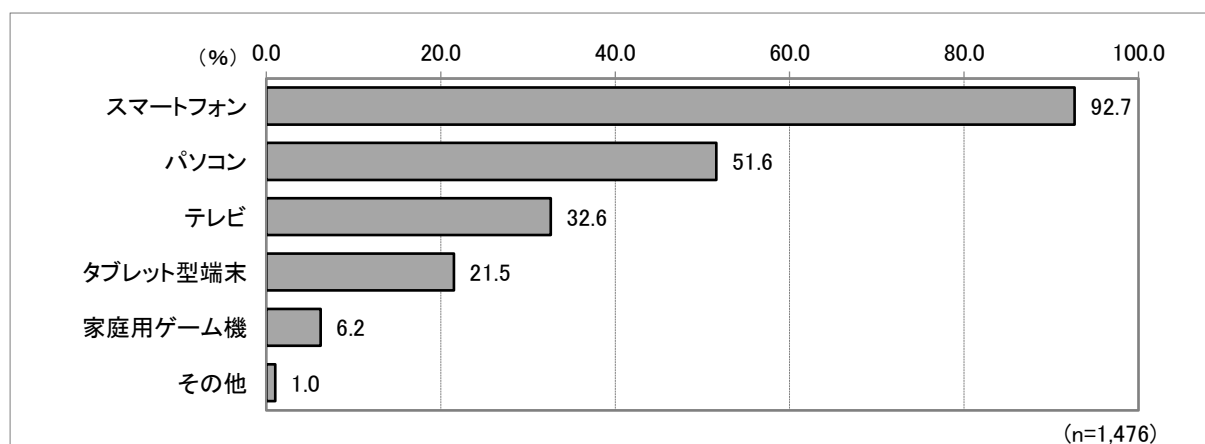
利用している情報通信機器についてたずねたところ、「スマートフォン」が 92.7%と大勢を占めており、次いで「パソコン (51.6%)」「テレビ (32.6%)」となった。

性別では、「パソコン」では男性 (64.1%) が女性 (38.8%) を大きく上回っている。

年代別では、10代で「タブレット型端末(61.5%)」「テレビ(56.4%)」「家庭用ゲーム機(33.3%)」で全体平均を大きく上回っている。また、20代も「家庭用ゲーム機 (31.2%)」が全体平均を大きく上回っている。70代以上は「スマートフォン (84.6%)」が唯一9割を下回っている。

居住年数別および子どもの有無別では目立った特徴は見られない。

【利用している情報通信機器 (単純集計)】



【利用している情報通信機器 (その他の回答内容)】

「その他」の回答内容
「ラジオ(5件)」、「カーナビ」、「スマホのゲーム」、「スマートスピーカー」、「スマートウォッチ」、「アレクサ」

【利用している情報通信機器（属性別）】

（単位：％）

		回答数	スマート フォン	タブレット 型端末	パソコン	テレビ	家庭用 ゲーム機	その他
全体		1,476	92.7	21.5	51.6	32.6	6.2	1.0
性別	男性	728	88.7	24.7	64.1	29.0	7.4	0.8
	女性	734	96.5	18.0	38.8	36.0	4.4	1.1
	答えたくない	11	100.0	36.4	54.5	45.5	45.5	9.1
年代	10代	39	97.4	61.5	38.5	56.4	33.3	0.0
	20代	77	98.7	29.9	51.9	41.6	31.2	2.6
	30代	142	99.3	34.5	49.3	36.6	13.4	2.8
	40代	233	96.1	27.0	59.7	29.2	11.2	0.4
	50代	232	97.4	22.8	57.8	27.2	2.2	0.4
	60代	323	92.6	17.3	50.8	26.9	0.6	0.3
	70代以上	423	84.6	11.3	45.9	36.4	0.5	1.4
居住年数	1年未満	13	100.0	23.1	53.8	0.0	7.7	0.0
	1年～5年未満	90	96.7	35.6	53.3	35.6	1.1	2.2
	5年～10年未満	83	98.8	22.9	45.8	24.1	13.3	1.2
	10年～15年未満	80	92.5	33.8	60.0	35.0	12.5	0.0
	15年以上	1,202	91.9	19.6	51.2	33.2	5.7	1.0
子どもの有無	就学前の 子どもがいる	147	97.3	31.3	52.4	38.8	12.9	1.4
	小学生・中学生 の子どもがいる	217	96.8	27.6	54.8	39.2	13.4	0.5
	高校生の 子どもがいる	113	93.8	32.7	57.5	41.6	9.7	0.0
	高校生以下の 子どもはいない	561	93.8	18.4	52.8	28.7	6.2	1.1

(3) デジタル化に向けた町の取組

【問 24】デジタル化の推進に向けた睦沢町の取り組みについてお伺いします。「①現在、町に不足していると思うもの」、「②今後、町に取り組んでほしいもの」を選んでください。
(複数回答、①②それぞれ3つまで選択可)

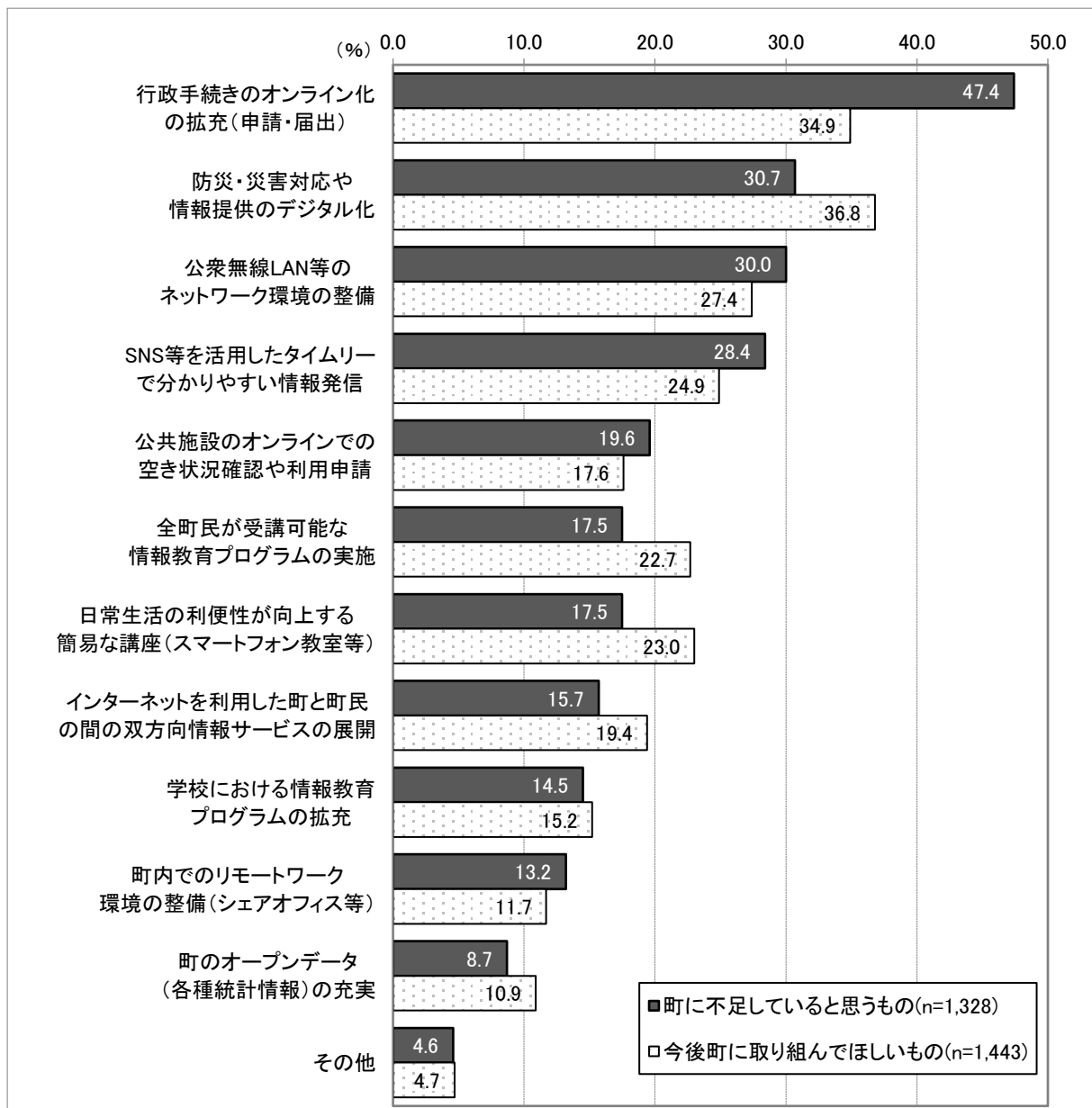
デジタル化の推進に向けて、現在、町に不足していると思うものについてたずねたところ、「行政手続きのオンライン化の拡充（申請・届出）」が47.4%と最も多く、次いで「防災・災害対応や情報提供のデジタル化（30.7%）」「公衆無線LAN等のネットワーク環境の整備（30.0%）」「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信（28.4%）」となった。

また、デジタル化の推進に向けて、今後、町に取り組んでほしいものについては、「防災・災害対応や情報提供のデジタル化」が36.8%と最も多く、「行政手続きのオンライン化の拡充（申請・届出）（34.9%）」「公衆無線LAN等のネットワーク環境の整備（27.4%）」「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信（24.9%）」となった。

「現在、町に不足していると思うもの」を属性別にみると、年代別では10代で「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信（36.1%）」および「公共施設のオンラインでの空き状況確認や利用申請（36.1%）」が最も多い。居住年数別では、「1年～5年未満」で「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が46.6%と全体平均を大きく上回っている。子どもの有無別では、「就学前の子どもがいる」でも「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が44.5%と全体平均を大きく上回っている。

「今後、町に取り組んでほしいもの」を属性別にみると、性別では男性で「行政手続きのオンライン化の拡充（申請・届出）（36.2%）」が最も多かった。年代別にみると、10代では「公共施設のオンラインでの空き状況確認や利用申請（50.0%）」が最も多い。また、「行政手続きのオンライン化の拡充（申請・届出）」は20代（44.7%）、30代（52.6%）、40代（46.5%）で最も多い。さらに、30代では「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が41.6%と全体平均を大きく上回っている。居住年数別にみると、「行政手続きのオンライン化の拡充（申請・届出）」は「1年未満（61.5%）」、「1年～5年未満（50.6%）」、「5年～10年未満（36.7%）」で最も多い。さらに、「1年～5年未満」では「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が39.3%と全体平均を大きく上回っている。子どもの有無別にみると、「行政手続きのオンライン化の拡充（申請・届出）」は「就学前の子どもがいる（47.2%）」、「小学生・中学生の子どもがいる（39.3%）」、「高校生の子がいる（50.0%）」で最も多い。さらに、「就学前の子どもがいる」では「SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信」が38.0%と全体平均を大きく上回っている。

【「現在、町に不足しているもの」「今後、町に取り組んでほしいもの」(単純集計)】



【「現在、町に不足しているもの」（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容(町に不足していると思うもの)	
町に不足していると思うもの	
	フリーWi-Fi
	5G導入
	情報機器の使用方法についての個別サポートサービス
	SNSの危険性の教育(防犯を含む)
その他(デジタル化に関する意見・要望や、デジタル化とは関係ないと思われる意見等)	
	病院がない
	町には期待できない
	役場・診療所・大型店・駅等のバス
	まずもってデジタル化と言うのであればこのようなアンケートは電子化すべき(QRコード等)郵送代のムダを削減してもらいたい
	もっとがんばって欲しい
	今のままで不便は感じていません
	高齢者にとってはむずかしいです。
	利用出来ない
	現在、どのような取組が行われているのか、よく分かりません。
	専門用語が多く意味が解らない。
	病院がない、1件では院長が王様(内科)
	子育て支援
	通帳記入できるATMがほしい
	不足していると思うのは、私自身が町のことを良く知らないということもあると思います。不足しているから充実させていただきたいと思います
	コミュニティーバス等の移動手段拡充
	図書館
	現状をよく知らない
	デジタル化とは関係ないですが、役場の職員の教育と、デジタルよりも挨拶などマナー教育を全員にお願いします。
	カタカナの字が多いですね、弱いです。

【「今後、町に取り組んでほしいもの」（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容(今後町に取り組んでほしいもの)	
デジタル化の教育関連【11件】	
出前講座	デジタル化の説明。分からないところをサポートしてくれるサービス等。
	オンライン化・SNS等・リモートワーク環境・ネットワーク環境・情報教育プログラム・情報のデジタル化の理解が出来ていない人が多い。町内の地域に役場での職員が参加するなど両者の考えてる事が足りないと思う。
	情報教育における専門性の高い人材の投入及び機材の充実、パブリックコメント
	行政手続きのオンライン化による申請・届出の仕方を教えてくれる人材
	情報機器の使用方法についての個別サポートサービス
	SNSの危険性の教育(防犯を含む)
	スマホの操作など、その都度分からないことを聞けるよう場所を設けて欲しい。町外に聞きに行ける交通手段がない
	高齢者にスマホやタブレット等の貸出や使い方の講座
	デジタル化の操作を教えてくれる人材
	高齢者でもスマホ・パソコン等が使えるように支援してくれる人材の確保
デジタル化から取り残される人への支援【4件】	
	高齢者が多いこの町ではデジタル化が進むことによって取り残される人が多く出ると思います。そちらの方への考慮もよろしくお願いします。
	デジタル化の推進はとても良い事です但し波にのりきれない人への十分な対応をどうするか？
	デジタル難民はどうすればいいのでしょうか？
	デジタル化のみ推進しても住民が使いこなせないという状況がない様にしていく
オンラインでの情報発信【4件】	
	情報公開や監査等の内容を住民に知らせること。
	選挙のお知らせ。町に知人が少ないので情報がなく知らないうちにいつも選挙が終わっている。
	オンライン回覧板
	学校等からの情報発信
施設利用申請のオンライン化【3件】	
	病院の予約を都内と同じようにオンラインにして欲しい、記入だったり、待ちだったりが多い
	町の図書室とのメールでのリクエスト・申し込み
	千葉県内図書の予約システム
通信環境の整備【3件】	
	通信環境改善、格安SIM
	5G導入
	Wi-Fiが使ってまったり愉快的な気持ちでやれる人、場所が欲しいです。
その他(デジタル化に関する意見・要望や、デジタル化とは関係ないと思われる意見等)	
	交通の不便
	病院がない
	診療所の医師不足、もう1人欲しい。
	アンケート内容とは関係ありませんが、一世帯に別々に2通分けて届いてますが、1通にまとめられないのですか？郵便料金の節約は考えないのですか？お役所関係の仕事は一般住民の感覚とずれていますね。
	ずっと住んでいる人達への移住事業並みの手厚い支援
	デジタル化も良いがもっと高齢者にやさしい行政をしてほしい
	役場・診療所・大型店・駅等のバス
	まずもってデジタル化と言うのであればこのようなアンケートが電子化すべき(QRコード等)郵送代のムダを削減してもらいたい
	各部落で子供達が遊べる場所
	わからない、実際デジタル化しても操作できないかもしれない。デジタル化ばかりに頼れない細かい情報の発信など
	取組んでいる内容を知らない
	各地域の定期的な統括支援
	情報のセキュリティがねらわれやすいので、管理を充実させる。
	田舎の町の良さにデジタルが重要かよく検討した方が良い
	農道整備(用水路)
	子育て支援
	このアンケートをWeb回答も選べると便利だなと思いました
	障害者
	良いと思うことがあれば、すぐに検討、実施が必要。
	コミュニティバス等の移動手段拡充
	図書館
	草刈り
	害獣駆除
	何でもデジタル化は？
	商業施設が少ない
	オンラインを極力使わずに人と人が対面して行う仕組みの充実

【「現在、町に不足しているもの」(属性別①)】

(単位:%)

		回答数	行政手続きのオンライン化の拡充(申請・届出)	SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信	公共施設のオンラインでの空き状況確認や利用申請	町内でのリモートワーク環境の整備(シェアオフィス等)	公衆無線LAN等のネットワーク環境の整備	学校における情報教育プログラムの拡充
全体		1,328	47.4	28.4	19.6	13.2	30.0	14.5
性別	男性	661	50.8	26.2	17.1	13.6	30.7	13.8
	女性	655	43.8	30.4	22.3	12.8	29.0	15.3
	答えたくない	10	40.0	40.0	10.0	10.0	50.0	10.0
年代	10代	36	25.0	36.1	36.1	5.6	25.0	27.8
	20代	76	48.7	27.6	18.4	23.7	30.3	21.1
	30代	135	56.3	38.5	23.7	8.1	21.5	21.5
	40代	219	51.1	29.2	24.7	12.3	34.2	25.1
	50代	199	50.8	35.2	15.1	14.1	38.2	9.5
	60代	276	48.6	27.5	18.1	12.0	33.0	9.8
	70代以上	380	41.1	21.3	16.8	14.5	24.5	9.5
居住年数	1年未満	13	53.8	7.7	23.1	23.1	23.1	7.7
	1年～5年未満	88	58.0	46.6	22.7	12.5	17.0	11.4
	5年～10年未満	74	36.5	24.3	12.2	6.8	29.7	32.4
	10年～15年未満	65	50.8	32.3	27.7	10.8	24.6	18.5
	15年以上	1,082	46.9	27.4	19.4	13.8	31.5	13.4
子どもの有無	就学前の子どもがいる	137	54.7	44.5	21.9	10.2	23.4	25.5
	小学生・中学生の子どもがいる	196	42.9	25.5	26.5	11.2	31.6	33.7
	高校生の子どもがいる	99	53.5	38.4	23.2	16.2	22.2	23.2
	高校生以下の子どもはいない	508	50.0	26.0	19.1	15.0	34.3	11.0

【「現在、町に不足しているもの」(属性別②)】

(単位:%)

		回答数	全町民が受講可能な情報教育プログラムの実施	日常生活の利便性が向上する簡易な講座(スマートフォン教室等)	防災・災害対応や情報提供のデジタル化	インターネットを利用した町と町民の間の双方向情報サービスの展開	町のオープンデータ(各種統計情報)の充実	その他
全体		1,328	17.5	17.5	30.7	15.7	8.7	4.6
性別	男性	661	18.6	18.8	30.0	18.0	10.6	3.2
	女性	655	16.5	16.5	31.9	13.1	7.0	6.0
	答えたくない	10	10.0	0.0	10.0	30.0	0.0	0.0
年代	10代	36	11.1	19.4	25.0	13.9	22.2	5.6
	20代	76	13.2	9.2	32.9	17.1	2.6	5.3
	30代	135	8.1	6.7	37.8	16.3	5.9	3.0
	40代	219	11.0	12.8	31.5	12.3	8.7	4.6
	50代	199	18.6	13.1	29.1	13.6	6.0	4.5
	60代	276	18.1	13.8	36.6	15.9	10.5	4.7
	70代以上	380	25.3	30.8	24.7	18.2	10.0	4.7
居住年数	1年未満	13	7.7	15.4	46.2	15.4	7.7	15.4
	1年～5年未満	88	8.0	5.7	43.2	17.0	4.5	8.0
	5年～10年未満	74	9.5	9.5	25.7	13.5	12.2	9.5
	10年～15年未満	65	12.3	12.3	32.3	13.8	15.4	3.1
	15年以上	1,082	19.1	19.2	29.9	15.9	8.4	3.8
子どもの有無	就学前の子どもがいる	137	6.6	10.2	30.7	14.6	7.3	2.9
	小学生・中学生の子どもがいる	196	11.7	11.2	31.6	11.7	8.2	4.1
	高校生の子どもがいる	99	13.1	13.1	27.3	16.2	9.1	6.1
	高校生以下の子どもはいない	508	17.5	15.6	32.5	15.0	9.6	2.4

【「今後、町に取り組んでほしいもの」(属性別①)】

(単位:%)

		回答数	行政手続きのオンライン化の拡充(申請・届出)	SNS等を活用したタイムリーで分かりやすい情報発信	公共施設のオンラインでの空き状況確認や利用申請	町内でのリモートワーク環境の整備(シェアオフィス等)	公衆無線LAN等のネットワーク環境の整備	学校における情報教育プログラムの拡充
全体		1,443	34.9	24.9	17.6	11.7	27.4	15.2
性別	男性	708	36.2	23.4	16.5	12.0	28.5	15.5
	女性	724	33.6	26.1	18.5	11.6	25.8	15.1
	答えたくない	8	25.0	37.5	25.0	0.0	62.5	0.0
年代	10代	38	34.2	23.7	50.0	5.3	23.7	26.3
	20代	76	44.7	27.6	21.1	21.1	34.2	17.1
	30代	137	52.6	41.6	21.9	10.2	21.2	21.2
	40代	230	46.5	23.9	21.3	13.9	29.6	24.8
	50代	209	34.4	28.7	13.9	14.8	34.9	12.0
	60代	311	31.8	21.9	15.8	10.3	32.5	12.9
	70代以上	435	23.9	20.2	13.8	9.4	20.0	10.3
居住年数	1年未満	13	61.5	15.4	15.4	7.7	30.8	15.4
	1年～5年未満	89	50.6	39.3	19.1	13.5	16.9	15.7
	5年～10年未満	79	36.7	27.8	17.7	7.6	21.5	26.6
	10年～15年未満	71	40.8	28.2	22.5	11.3	25.4	18.3
	15年以上	1,185	33.0	23.5	17.3	12.0	28.7	14.2
子どもの有無	就学前の子どもがいる	142	47.2	38.0	23.2	10.6	19.0	28.9
	小学生・中学生の子どもがいる	206	39.3	25.2	25.7	14.6	29.1	29.1
	高校生の子どもがいる	108	50.0	24.1	27.8	16.7	25.0	23.1
	高校生以下の子どもはいない	557	34.6	24.1	15.8	12.9	31.6	11.3

【「今後、町に取り組んでほしいもの」(属性別②)】

(単位:%)

		回答数	全町民が受講可能な情報教育プログラムの実施	日常生活の利便性が向上する簡易な講座(スマートフォン教室等)	防災・災害対応や情報提供のデジタル化	インターネットを利用した町と町民の間の双方向情報サービスの展開	町のオープンデータ(各種統計情報)の充実	その他
全体		1,443	22.7	23.0	36.8	19.4	10.9	4.7
性別	男性	708	22.0	21.5	35.6	24.2	12.3	4.4
	女性	724	23.5	24.7	38.1	14.6	9.7	5.0
	答えたくない	8	0.0	12.5	37.5	37.5	0.0	0.0
年代	10代	38	10.5	15.8	36.8	13.2	13.2	5.3
	20代	76	11.8	9.2	38.2	17.1	5.3	6.6
	30代	137	9.5	8.0	42.3	15.3	7.3	4.4
	40代	230	15.7	12.2	41.3	13.0	9.6	4.8
	50代	209	23.0	19.1	35.4	18.2	6.7	5.7
	60代	311	22.2	26.0	40.5	22.5	9.6	4.5
	70代以上	435	33.8	36.3	31.0	23.7	16.3	3.9
居住年数	1年未満	13	15.4	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7
	1年～5年未満	89	11.2	7.9	43.8	16.9	6.7	9.0
	5年～10年未満	79	12.7	15.2	32.9	13.9	11.4	8.9
	10年～15年未満	71	23.9	18.3	40.8	19.7	11.3	7.0
	15年以上	1,185	24.2	24.8	36.6	20.1	11.1	3.8
子どもの有無	就学前の子どもがいる	142	13.4	9.9	37.3	15.5	7.7	3.5
	小学生・中学生の子どもがいる	206	16.0	11.7	36.4	14.1	9.2	5.3
	高校生の子どもがいる	108	22.2	14.8	28.7	15.7	8.3	7.4
	高校生以下の子どもはいない	557	23.3	24.6	38.2	18.3	12.2	2.2

7. 防災に向けた取組について

(1) 防災・減災に向けた町の取組

【問 25】防災・減災に向けた睦沢町の取組みについてお伺いします。「①現在、町に不足していると思うもの」、「②今後、町に取り組んでほしいもの」を選んでください。
(複数回答、①②それぞれ3つまで選択可)

防災・減災に向けて、現在、町に不足していると思うものについてたずねたところ、「災害時のライフラインを未然に強化」が44.8%と最も多く、次いで「災害時の情報伝達手段の充実(42.3%)」「自主防災組織の育成・強化(33.0%)」「避難場所や防災倉庫等の災害対策拠点設備の強化(31.6%)」となった。

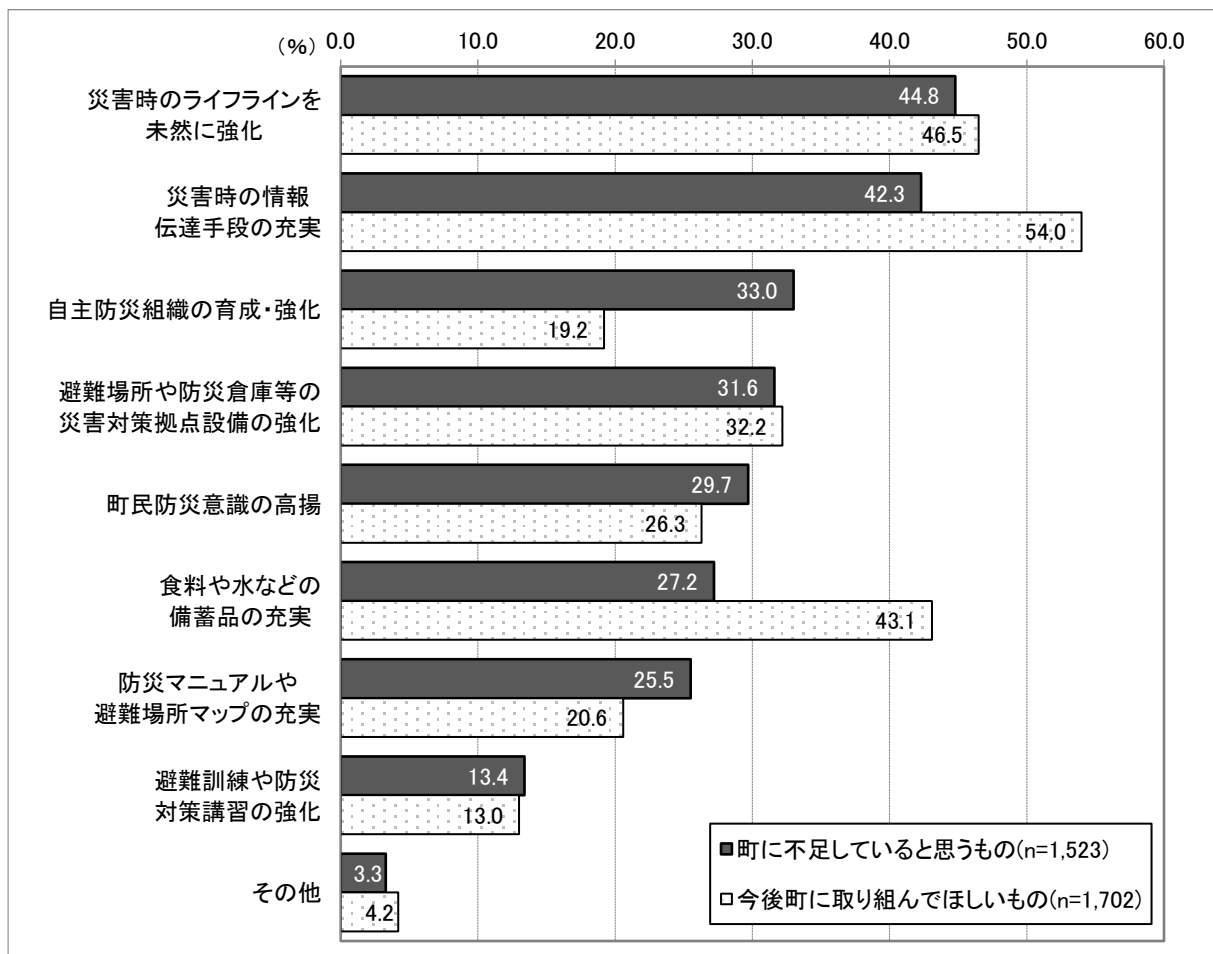
また、防災・減災に向けて、今後、町に取り組んでほしいものについては、「災害時の情報伝達手段の充実」が54.0%と最も多く、「災害時のライフラインを未然に強化(46.5%)」「食料や水などの備蓄品の充実(43.1%)」「避難場所や防災倉庫等の災害対策拠点設備の強化(32.2%)」となった。

「自主防災組織の育成・強化」は「不足(33.0%)」が「取り組んでほしい(19.2%)」を大きく上回っている(≒不足しているが取組の重要度はやや低い)。反対に、「食料や水などの備蓄品の充実」は「取り組んでほしい(43.1%)」が「不足(27.2%)」を大きく上回っている(≒あまり不足していないが今後も引き続き取り組むべき)。

「現在、町に不足していると思うもの」を属性別にみると、年代別では「災害時の情報伝達手段の充実」が10代(45.5%)および20代(45.8%)では最も多い。また、70代以上では「自主防災組織の育成・強化(44.8%)」が最も多い。

「今後、町に取り組んでほしいもの」を属性別にみると、年代別では「災害時のライフラインを未然に強化」が10代(51.4%)では最も多い。居住年数別にみると、「1年未満」では「災害時のライフラインを未然に強化(46.2%)」「防災マニュアルや避難場所マップの充実(46.2%)」が最も多い。子どもの有無別にみると、「災害時のライフラインを未然に強化」が「就学前の子どもがいる(46.9%)」では最も多い。

【「現在、町に不足しているもの」「今後、町に取り組んでほしいもの」(単純集計)】



【「現在、町に不足しているもの」（その他の回答内容）】

「その他」の回答内容(町に不足していると思うもの)	
町に不足していると思うもの	
災害時の要支援者の対応について(上市場区)	
発電設備、水の生成施設装置	
消防団	
消防操法大会の中止	
防災対策リフォーム支援金の制定	
災害が起こった時の情報提供、例えば停電になった時、その理由やいつ頃改善されるか等早急に町民に知らせしてほしい	
停電の時の情報提供	
1、自分達で何をするのか、何ができるか 4、指定場所である旧瑞沢小学校は土砂災害特別警戒区域	
5、参加者が少ない9、道路周りの竹、木の整備→通行できない場所が増える	
田舎特有のとなりと近所町ぐるみつきあい	
大災害時の長生郡内の協力化	
店舗不足(衣料品、本)	
災害時における補助金制度の簡易化	
町内放送が聞こえないので、災害等あったときに、どのような状況なのか分からない。	
その他(防災に関する意見・要望や、防災とは関係ないと思われる意見等)	
よく配慮されていると思います	
充分やっているかと。不足していない。	
すべて不足していると思う	
以前役場にハザードマップをもらいに行ったら、職員の50代と思われる男性が別の男性職員に「ハザードマップってなんだっけ？」と聞いていました。役場の職員がその意識では困ります。当該50代男性職員は意識を改めて頂きたい。若い職員は頑張ってると思います。	
一宮駅近くに町民の為の駐車場を確保してほしい、通勤が便利になり転入のきっかけになる	
内科院がない、なぜか	
現在の町の取組みに知識がないためお答えすることができません。すみません	
子供向け(イベント、あずける環境、わくわくの再開)、子育ての環境(室内の遊び場、プールを9月までやってほしい)。こども園の先生で嫌なというか強い口調の方がいて、子供が休んでいるという話を耳にした。不安です。	
現状がどのくらい整っているのか広報等で知らせて欲しい。	
なし 町の職員の皆様は、やさしい対応でよくやって頂いています。	
どうか町民の声を発展する為にアンケートを取って頂きありがとうございました	
現状をよく知らない	

【「今後、町に取り組んでほしいもの」（その他の回答内容①）】

「その他」の回答内容(今後町に取り組んでほしいもの)
防災にかかるインフラ整備【16件】
老朽化した空家や道に出ている公共・個人宅の木の伐採、歩道にまで出てる場所もある。
街灯が少なすぎる
道の駅周辺以外の整備
危険な山や川の強化
災害の予防 ※金久保排水機場のポンプ容量アップ 2023/9月の大雨時、一時孤立しました。後30分雨がふっていたら被災した家が多数でしたと思います。いっとうするのか解答をお願いします。
山の整備、崖崩れ注意情報
崖の整備、家の裏山危険地域 必ず実施して欲しい
一宮川の氾濫防止
水路・側溝の掃除を励行すること。大きな事ばかりではなく足元の事から始めたらどうですか。
線状降水帯による排水の強化
昔と比べると雨量が多くなっている為河川の現況を調査して対応してほしい。
家の前の道路に街灯が1つもない。何年も前から消防団部長から区長に言ってもらっているが何もない。←場所 ●●(※個人情報のため非表示) どうぞよろしくをお願いします!!
道路整備、危険な場所の修理。
電灯少なく暗い所多い。役場周辺、夜暗いので電灯つけて欲しい
道路、がけの整備
睦沢町は緑の多い町と思われる。が、各個人宅の樹木が大きく災害を招く恐れが散見される。 ・生垣が道路上(通学路)まではみ出し成長し、登校する小学生が樹木を避けるため車道に出でしまい、後方からの車両と接触する可能性がある。 ・庭先の樹木が電線に接触している家庭があり、台風等災害時に倒木による電線の切断、周辺の停電の発生が思慮される。また倒木による道路の寸断、交通渋滞の発生。 対策として、職員による各個の確認、伐採の指導、伐採費用の補助、シルバー人材センター職員による派遣等を検討。 ネットワークの拡充等も必要ですが、自然災害からの二次災害発生対策も検討して頂きたい。
防犯・防災にかかる設備・備品の支援【11件】
防犯カメラ設置
防災無線機の配布
防犯カメラ等も付けてもらいたい
配布された防災無線機が屋内で完全に聞こえる状態にしてもらいたい
防災対策リフォーム支援金の制定
防災無線の電波の改善
バッテリーや避難時のボートなどの配布が補助
わからない。町民8000人弱なので個人宅に合わせた防災リュック等の配布も可能では?(毎年少しずついいので)
防災無線がよく聞こえない。タイムリーな情報提供がない
ポータブル電源等防災備品の補助金
ダンボールベットなどをたくさん用意してほしい

「その他」の回答内容(今後町に取り組んでほしいもの)
防災・被災時の行動に対する準備【11件】
避難場所の見直し
都会的な訓練ではなく田舎に適したやり方
停電が長く続く場合の対応(4か月以上、どうするか)
停電の時の情報提供
ペットの同伴、避難先の確保
大津波発生時の河川のハザードマップの作成
各地区ごとの災害訓練と各地域内のコミュニティ強化
トイレ対策の啓発活動(行政がやれること、自身で取り組めること、簡易トイレ購入とか一戸建てなら穴を掘るとか)災害時は本当に困ることが多くなるので⑧の意識の高揚は大切だと思う。
家の崖が崩れて困った。修理費助成してもらい直せたら幸いです。個人ではなかなかできません。家を管理してもらって後継ぎがない。家の周り、山野、田の手入れ
町内キャンプ大会、野外活動体験、サバイバルで学ぶ防災知識
kitみずさわでの防災キャンプの参加料金をもう少し安価に設定いただけたと多くの人に参加しやすいと思います。興味はあったが少し高いと感じました。
避難設備の充実【7件】
避難場所に通信設備や寝具及び避難誘導員(介護士)が皆無
移動式トイレ車+ペットと避難できる場所
有事対処・防空壕(シェルター)設置(新校舎の地下)
避難方法・場所の見直し
多くの人が収容可となる避難施設
台湾の様な避難場の設備の充実、設置の風速化、等具体的な数値の確保。
ペットを連れて避難できる場所
消防団関連【4件】
消防団
消防操法大会の中止
田中町長自身が元消防団員のため現在全国で社会問題となっている以下の消防団問題について、無策であることが問題 ・消防団が住民や町内会から金品を受領していること ・実践に役立たない操法大会の過度の負担 ・報酬を個人から再徴収する事 ・消防施設での飲酒行為 ・長生村が行ったような消防団員へのアンケートを取らない ・コンプライアンス意識の低さ ・消防団員は公務員であるという自覚のなさ
消防要員の募集
災害弱者への対策【3件】
災害時の要支援者の対応について(上市場区)
障害者 避難場所に行くと中に危険がある。自宅が一番安全と思える。要介護の人はどうするのか?
災害時の生活再建への支援【3件】
災害後の生活支援
災害時における補助金制度の簡易化
災害時の無償補助のためのお金の用意
交通網関連【2件】
交通の不便
生きている交通網の可視化(道路状況)

【「今後、町に取り組んでほしいもの」（その他の回答内容②）】

「その他」の回答内容(今後町に取り組んでほしいもの)	
医療体制【2件】	
	医療機関が少ない。一人の医師が倒れたらどうする総合病院の誘致(建設)をお願いしたい。
その他	
	取り組んでる内容が分かりません。
	9/23(月)5時間以上の停電になり、もっと早く放送してもらいたい。
	全体的に
	今の状態で宜しいかと思えます
	山林資源の利活用
	人口減少に対応するにはどうしたら良い?
	人々の交流と親身寄り添う人、我が身と考える人、聞き入れる人、個人の意見ばかり考え無い。

【「現在、町に不足しているもの」(属性別)】

(単位:%)

		回答数	自主防災組織の育成・強化	災害時のライフラインを未然に強化	避難場所や防災倉庫等の災害対策拠点設備の強化	防災マニュアルや避難場所マップの充実	避難訓練や防災対策講習の強化	食料や水などの備蓄品の充実	災害時の情報伝達手段の充実	町民防災意識の高揚	その他
全体		1,523	33.0	44.8	31.6	25.5	13.4	27.2	42.3	29.7	3.3
性別	男性	744	35.2	44.5	33.2	24.9	14.9	27.7	41.1	30.1	3.5
	女性	768	31.3	45.2	30.1	26.2	12.0	26.6	43.4	29.3	3.1
	答えたくない	8	0.0	50.0	50.0	25.0	12.5	37.5	37.5	25.0	0.0
年代	10代	33	18.2	30.3	36.4	30.3	15.2	36.4	45.5	30.3	3.0
	20代	72	15.3	44.4	36.1	31.9	16.7	29.2	45.8	26.4	5.6
	30代	127	18.1	55.9	25.2	30.7	11.0	25.2	53.5	29.9	5.5
	40代	213	23.0	50.2	33.3	26.3	9.9	30.5	50.2	24.4	3.8
	50代	211	27.0	51.2	25.6	21.8	11.8	28.0	45.5	29.4	4.3
	60代	326	35.9	49.4	32.8	24.2	12.3	26.1	38.7	32.5	2.5
	70代以上	534	44.8	35.8	33.7	25.1	15.9	25.8	37.1	30.3	2.4
居住年数	1年未満	11	27.3	63.6	36.4	27.3	27.3	27.3	18.2	18.2	0.0
	1年～5年未満	82	19.5	52.4	28.0	34.1	12.2	28.0	52.4	19.5	7.3
	5年～10年未満	74	18.9	44.6	24.3	27.0	8.1	37.8	44.6	27.0	4.1
	10年～15年未満	68	23.5	58.8	27.9	29.4	10.3	25.0	42.6	13.2	7.4
	15年以上	1,281	35.1	43.6	32.6	24.7	13.7	26.6	41.7	31.5	2.8
子どもの有無	就学前の子どもがいる	130	20.0	55.4	33.8	21.5	10.8	27.7	43.1	35.4	3.1
	小学生・中学生の子どもがいる	204	25.5	47.5	26.0	23.5	15.2	32.8	40.7	29.9	4.4
	高校生の子どもがいる	106	29.2	49.1	32.1	30.2	10.4	26.4	36.8	35.8	3.8
	高校生以下の子どもはいない	585	33.3	48.4	31.6	23.2	13.0	25.6	44.8	28.4	2.7

【「今後、町に取り組んでほしいもの」(属性別)】

(単位:%)

		回答数	自主防災組織の育成・強化	災害時のライフラインを未然に強化	避難場所や防災倉庫等の災害対策拠点設備の強化	防災マニュアルや避難場所マップの充実	避難訓練や防災対策講習の強化	食料や水などの備蓄品の充実	災害時の情報伝達手段の充実	町民防災意識の高揚	その他
全体		1,702	19.2	46.5	32.2	20.6	13.0	43.1	54.0	26.3	4.2
性別	男性	820	20.7	47.0	33.3	19.8	16.8	42.8	47.7	27.2	4.8
	女性	868	17.7	46.1	31.5	21.5	9.4	43.3	60.0	25.5	3.6
	答えたくない	10	20.0	50.0	20.0	20.0	20.0	50.0	50.0	30.0	0.0
年代	10代	37	5.4	51.4	29.7	37.8	27.0	40.5	48.6	13.5	2.7
	20代	77	11.7	40.3	32.5	27.3	18.2	40.3	48.1	26.0	7.8
	30代	138	16.7	52.9	33.3	23.2	9.4	32.6	56.5	26.8	6.5
	40代	230	18.7	54.3	34.3	20.9	9.6	42.6	54.3	17.8	4.3
	50代	228	17.1	53.9	30.7	22.4	9.2	48.2	54.4	18.4	5.7
	60代	354	19.8	52.0	32.2	20.9	12.7	41.5	56.2	26.0	4.8
	70代以上	631	22.0	37.4	32.2	17.6	15.4	45.2	52.9	33.0	2.4
居住年数	1年未満	13	7.7	46.2	23.1	46.2	30.8	23.1	38.5	23.1	0.0
	1年～5年未満	90	14.4	48.9	27.8	26.7	5.6	51.1	57.8	18.9	8.9
	5年～10年未満	83	16.9	50.6	30.1	22.9	9.6	41.0	50.6	21.7	4.8
	10年～15年未満	80	13.8	48.8	27.5	21.3	8.8	43.8	62.5	12.5	8.8
	15年以上	1,426	20.1	46.1	33.0	20.0	13.9	42.8	53.5	27.7	3.6
子どもの有無	就学前の子どもがいる	143	18.9	46.9	35.0	19.6	7.7	42.0	45.5	30.1	3.5
	小学生・中学生の子どもがいる	217	18.9	49.3	31.3	14.3	12.0	39.2	55.8	27.6	4.1
	高校生の子どもがいる	116	25.9	50.0	25.9	21.6	13.8	37.1	53.4	28.4	5.2
	高校生以下の子どもはいない	648	17.1	49.5	32.7	22.5	14.4	43.4	52.5	24.7	3.7